

委員会活動

各委員会庶務担当については下線を付しています

◆ 医療安全関係

1. 医療安全管理対策委員会

構 成 人 員	委員長		若林直樹(院長)
	副委員長		光吉明(副院長), 高見史朗(診療局長), 日向美和子(医療の質・安全管理室参事)
	メ ン バ ー	診療局	城正泰(臨床研修センター長), 寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 松林里佳(臨床研修センター)
		医療技術局	中山英夫(薬剤部薬剤長), 松井里美(臨床検査部技師長), 南一男(放射線部技師長), 木村啓志(臨床工学部技師長)
		看護局	須佐美智子(看護局次長), 奥村紀子(7B師長)
	事務局他	高野早人(事務局長), 大石達也(施設契約課長), 高橋 智枝子(患者相談室長), 宮本直樹(医療の質・安全管理室)	
庶務担当			<u>山中利加</u> (医療の質・安全管理室副参事), <u>竹原洋二</u> (医療の質・安全管理室)
会議			1回/月 開催
活動内容			<p>【開催日】 2020年4月8日(水)、5月13日(水)、6月10日(水)、7月8日(水)、8月12日(水)、 9月9日(水)、10月14日(水)、11月11日(水)、12月9日(水)、2021年1月13日 (水)、2月10日(水)、3月10日(水)</p> <p>【定例報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント、アクシデントレポート件数報告 ・一部事象内容報告、検討 ・患者相談・苦情件数及び内容報告 <p>【その他 報告・協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度インシデント・アクシデント件数報告 ・2019年度臨床検査部検体関連インシデント件数報告 ・リスクマネジメント部会の開催について ・放射線病理レポート未読件数について ・2020年度医療安全研修会計画について ・2020年度専従医療安全管理者業務計画について ・当院栄養部について ・院内アクシデント調査委員会報告 ・臨時医療安全管理対策委員会報告 ・医師マニュアルの「説明と同意による医療の提供」について ・是正指示に対する各診療科の対応結果について ・転倒転落予防に関する標語の投票結果について ・イソジン+アルコール綿花の長時間接触による化学熱傷の終診報告 ・「世界患者安全の日」について ・リスクマネジメント部会グループ活動中間報告 ・火災(地震による火災)発生時マニュアルについて ・リスクマネジメント部会会議開催方法の変更について ・医療安全研修会開催についてのお知らせ ・新規事象発生時の病院払い伝達フローについて(案) ・「ご意見・ご要望に対する所属調査報告」のお願い ・「不当行為事例別対応表」について ・過去の院内アクシデント調査委員会からの指示に対する実施状況報告 ・リスクマネジメント部会からのお知らせ ・2020年度医療安全研修会参加率等最終報告 ・SafetyPlus による e-learning の継続について

2. 感染対策委員会

構成 人員	委員長		若林直樹(院長)
	副委員長		大江秀典(感染症科診療部長), 松下弘美(感染管理室)
	メン バー	診療局	高谷季穂(総合内科診療部長), 平沼修(呼吸器内科診療部長), 中尾光成(臨床検査部診療部長), 辻桂嗣(小児科), 柴崎昇(泌尿器科), 本田和暉(臨床研修センター)
		医療 技術局	中山英夫(薬剤部薬剤長), 松井里美(臨床検査部技師長), 西田なほみ(栄養部技師長), 高尾しほ(薬剤部), 粟村浩二(臨床検査部)
		看護局	渡邊良子(看護局長), 川島もと子(看護局参事), 吉田すみ子(材料滅菌部師長), 横谷恵(6B 師長), 奥村紀子(7B師長), 名坂涼子(ICU)
事務局他		高野早人(事務局長), 鈴木幸子(医事課長)	
庶務担当			松下弘美・石田道一(感染管理室)
会議			1回/月 開催
活動内容			<p>定例会議: 毎月第4月曜日 2020年4月27日(月)、5月25日(月)、6月22日(月)、7月27日(月)、8月24日(月)、9月28日(月)、10月26日(月)、11月30日(月)、12月28日(月)、2021年1月25日(月)、2月22日(月)、3月22日(月)</p> <p>【定例報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疫学情報(MASA 分離件数、所属別・材料別分離菌、血液培養分離菌、耐性菌等に関する報告) ・ICT・AST 報告(ラウンド結果、抗菌薬使用量、サーベイランス結果) ・事例報告 ・「感染防止対策加算」、「感染防止対策地域連携加算」における取り組み及びラウンド結果 ・感染対策研修会について(教育計画、結果報告) ・看護局感染防止検討委員会からの報告 <p>【協議内容及び報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針刺し・粘膜曝露について

3. 褥瘡対策委員会

構成 人員	委員長		貫野賢(皮膚科診療部長)
	副委員長		大津陽子(医療の質・安全管理室参事)
	メン バー	診療局	山田真人(脳神経内科), 峠岡佑典(内科)
		医療 技術局	神原諒(薬剤部), 新田綺咲(栄養部), 川端拓朗(リハビリテーション部)
看護局		大坪有紀子(3B), 山崎千恵子(7A)	
庶務担当			大津陽子・竹原洋二(医療の質・安全管理室)
会議			3回/年 開催
活動内容			<p>第1回開催日: 2020年5月11日(月)-19日(火) <院内メール会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年活動報告 褥瘡発生状況等 ・2020年活動方針について ・褥瘡対策研修会について ・その他 <p>第2回開催日: 2020年11月5日(木)~11月19日(木) <院内メール会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度上半期褥瘡発生状況、回診等活動報告 ・褥瘡対策研修会開催報告 ・予算について ・その他 <p>第3回開催日: 2021年3月12日(月)-3月22日(月) <院内メール会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度活動報告(2月末分まで) ・2021年度褥瘡対策研修会について ・体圧分散寝具、エアマットレスについて ・その他

4. 医療機器安全管理委員会

構成 人員	委員長	戸田省吾(医療技術局長)	
	副委員長	南一男(放射線部技師長), 松井里美(臨床検査部技師長)	
	メンバー	診療局	-
		医療技術局	木村啓志(臨床工学部技師長)
看護局		-	
会議		随時開催	
活動内容		2020年8月 メール会議 第1回 医療機器安全管理委員会開催 議題 1.昨年度の医領域点検計画報告 2.本年度の医療機器点検計画について 3.その他(院内医療機器研修会の計画及び報告)	

5. 透析機器安全管理委員会

構成 人員	委員長	中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長)	
	副委員長	木村啓志(臨床工学部副技師長)	
	メンバー	診療局	吉田尚平(内科)
		医療技術局	奥村博一(臨床工学部)
		看護局	高木文子(血液浄化部師長)
事務局他		-	
庶務担当		奥村博一(臨床工学部)	
会議		2回/年 開催	
活動内容		第1回透析機器安全管理委員会(令和2年 11月4日) 議題:令和2年度 透析液生菌検査およびエンドトキシン検査結果(4月から10月) 第2回透析機器安全管理委員会(令和3年 3月15日) 議題:令和2年度 透析液生菌検査およびエンドトキシン検査結果(11月から3月)	

6. 防火災害対策委員会

構成 人員	委員長	藤原克次(心臓血管外科診療部長)	
	副委員長	山極久美子(5A病棟師長)	
	メンバー	診療局	中島潤(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医療技術局	松尾洋史(リハビリテーション部副技師長), 今井修一(放射線部), 神原諒(薬剤部)
		看護局	各所属長
事務局他		堀瀬和雄(事務局次長), 鈴木幸子(医事課長), 大石達也(施設契約課長)	
庶務担当		原氏恒(施設契約課)	
会議		随時開催	

活動内容	開催日 令和3年3月15日(月)(第1回)
	協議事項 1)今年度の防火・防災訓練について 令和2年11月25日 ICUで防災訓練を実施 令和2年11月26日 8A病棟で夜間想定火災訓練を実施 2)次年度以降の防火・防災訓練について 令和3年度・・・手術室、7A病棟 令和4年度・・・血液浄化部、7B病棟 3)その他 火災(地震による火災)発生時対応マニュアルを最新版に更新する。

7. 放射線安全管理委員会

構成人員	委員長	市場文功(放射線部診療部長)	
	副委員長	高野早人(事務局長)	
	メンバー	診療局	城正泰(消化器内科), 有本麻耶(放射線科)
		医療技術局	南一男(放射線部技師長), 山内聡(放射線部副技師長), 上野智弘(放射線部), 早川太朗(薬剤部副薬剤長)
		看護局	堤夏美(外来部副師長)
事務局他		-	
庶務担当	小向圭二(施設契約課), 田中里衣(総務課)		
会議	随時開催		
活動内容	開催日 令和3年1月14日(木)(第1回) サイボウズでのメール会議 協議事項 1.放射線設備の管理状況等について 1)放射線装置保守点検 2)放射線安全管理状況の報告 2.放射線従事者研修の実施について 3.放射線従事者雇い入れ時健康診断について 4.改正電離放射線障害防止規則の施行について 1)新規雇い入れ者の実効線量(過去5年分)の確認 2)放射線業務に関する自主点検の実施 5.「市立大津市民病院における診療用放射線の安全利用のための指針」および「放射線障害予防規定」「災害時の連絡通法マニュアル」について		

8. 医療ガス安全管理委員会

構成人員	委員長	橋口光子(麻酔科診療部長)	
	副委員長	吉村規子(臨床工学部副参事)	
	メンバー	診療局	森由美子(麻酔科)
		医療技術局	辻淳子(薬剤部)
		看護局	森美保子(手術室)
事務局他		山本尚基(オリックス・ファシリティーズ株: 高圧ガス取扱主任者)	
庶務担当	西津剛志(施設契約課)		
会議	1回/年 開催		
活動内容	<p>開催日 令和3年3月15日(第1回)サイボウズ上でのメール開催 協議事項 令和元年度医療ガス設備の管理状況等について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医療ガス設備保守点検 ② CE設備(液化酸素)定期自主検査 ③ 液化酸素使用量及び受入量 ④ EOG作業環境測定 <p>直近の医療ガス設備保守点検時受託業者所見について</p>		

◆ 診療・医事関係

9. 医療標準化委員会

構成人員	委員長	戸田省吾(副院長)	
	副委員長	中嶋敏宏(副院長)	
	メンバー	診療局	高見史朗(診療局長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長), 藤原克次(心臓血管外科診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長)
		医療技術局	山藤隆晃(臨床検査部), 早川太朗(薬剤部副薬剤長), 中村昌文(放射線部)
		看護局	内田美智代(8A 師長), 山田久美(外来師長)
事務局他		上野隆平(総務課長), 山本芳美(入退院センター室長), 鈴木幸子(医事課長)	
庶務担当	寺田貴子(診療情報管理室)		
会議	随時開催		
活動内容	<p>サイボウズメール会議</p> <p>第1回 令和2年5月19日(火)~令和2年5月26日(火) 議題①説明同意書の承認期限について ②医療標準化委員会委員での承認審査分担について</p> <p>第2回 令和2年6月25日(木)~令和2年7月2日(木) 議題 手術、処置時の説明同意書の審査について</p> <p>第3回 令和2年8月21日(金)~令和2年8月28日(金) 議題 耳鼻咽喉科 説明同意書8件の審査について</p> <p>第4回 令和2年9月4日(金)~令和2年9月11日(金) 議題 外科 中心静脈(CVポート)抜去術説明書及び同意書について</p> <p>第5回 令和2年9月24日(木)~令和2年10月1日(木) 議題 消化器内科 説明同意書2件の審査について</p>		

	<p>第6回 令和3年3月16日(火)～令和3年3月23日(火) 議題 循環器内科 説明同意書の審査について</p> <p>診療記録監査 実施期間 第1回 令和2年09月07日(月)～09月18日(金) 第2回 令和2年11月09日(月)～11月20日(金)</p> <p>監査対象診療科 第1回 消化器内科 脳神経外科 呼吸器外科 脳神経内科 泌尿器科 整形外科 循環器内科 呼吸器内科 第2回 総合内科 外科 歯科 心臓血管外科 皮膚科 耳鼻咽喉科 精神心療内科 緩和ケア科 小児科 眼科</p> <p>・各診療科医師1名につき監査対象診療記録を2冊とした。 ・18診療科、78名の医師の診療記録を監査した。</p>
--	--

10. クリニカルパス委員会

構成 人員	委員長	高見史朗(診療局長)	
	副委員長	山中理(薬剤部)	
	メ ン バ ー	診 療 局	辻桂嗣(小児科), 峠岡佑典(内科), 畚木浩行(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 牧野敏樹(泌尿器科)
	医 療 局	澤彩子(臨床検査部), 山中理(薬剤部)	
	看 護 局	須佐美智子(看護局次長), 山極久美子(5A 師長), 山崎富美子(6B 副師長), 原田緑(7A 師長), 奥村紀子(7B 師長), 飯田史朗(6A 副師長)	
	事 務 局 他	川勝政範(経営管理課), 中西みちる(医事課)	
	庶務担当	宮本啓代(医事課)	
	会 議	随時開催	
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回(メール会議)…2020年6月29日～7月15日 【内容】新規パスの審査・承認 ・第2回(メール会議)…2020年6月30日～7月14日 【内容】新規パスの審査・承認 ・第3回(メール会議)…2020年8月27日～9月16日 【内容】新規パスの審査・承認 ・第4回(メール会議)…2020年11月4日～11月25日 【内容】新規パスの審査・承認 ・第5回(メール会議)…2021年1月4日～1月21日 【内容】新規パスの審査・承認 	

11. 臨床検査精度管理運営委員会(旧 臨床検査精度管理委員会)

構成 人員	委員長	中尾光成(臨床検査部診療部長)	
	副委員長	益澤尚子(病理診断科診療部長)	
	メン バー	診療局	木股正樹(循環器内科診療部長), 寄木浩行(消化器内科), 平井聡一(呼吸器内科), 戸田省吾(副院長)
		医療 技術局	松井里美(臨床検査部技師長), 田口一也(臨床検査部副参事), 高木未央(臨床検査部), 辻淳子(薬剤部)
		看護局	高橋智都子(手術部副師長)
事務局他	神山果歩(経営管理課)		
庶務担当		瀧井さち子(臨床検査部副技師長)	
会議		1~2回/年 開催(今年度は1回開催 WEB 形式)	
活動内容		<p>2020年6月18日~7月13日まで</p> <p>【1】報告事項</p> <p><1> 今年度参加の外部精度管理について</p> <p>1)2020年度日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査</p> <p>2)2020年度滋賀県臨床検査精度管理調査</p> <p>3)2020年度日本医師会精度管理調査</p> <p><2> 人員の動向</p> <p>1)新規正規職員採用予定</p> <p>2)退職者および移動予定者</p> <p><3> 臨床検査部の取り組みについての進捗状況</p> <p>1)人員について</p> <p>2)大型機器更新について</p> <p>3)今後の取り組み</p> <p><4> その他</p> <p>【2】協議事項</p> <p><1> 生化学項目 ALP(アルカリフォスファターゼ)・LD(乳酸脱水素酵素)測定法変更について</p> <p><2> 今後の基準値について</p>	

12. RST 委員会

構成 人員	委員長	柳田正志(呼吸器外科診療部長)	
	副委員長	千葉玲哉(救急診療科副診療部長)	
	メン バー	診療局	村西謙太郎(救急診療科), 藤野光洋(救急診療科)
		医療 技術局	西山祐子(歯科口腔外科副参事), 吉村規子(臨床工学部副技師長), 横谷俊彦(リハビリテーション部), 山村篤史(薬剤部)
看護局		内田美智代(8A 師長), 森俊之(ICU), 原田彩花(7B), 中野淳子(3B), 若尾泰弘(ICU)	
庶務担当		吉村規子(臨床工学部副技師長)	
会議		1回/年 開催(COVID-19の影響により)	
活動内容		<p>2020年度 第1回 呼吸療法サポートチーム(RST)委員会</p> <p>2021年3月7日メール会議にて開催</p> <p>1、今年度の活動報告</p> <p>2、人工呼吸器マスターコースについて</p> <p>3、次年度の RST 活動について</p>	

13. NST 委員会

構成 人員	委員長	石井通予(栄養部診療部長)	
	副委員長	峠岡佑典(内科)	
	メンバー	診療局	諏訪兼敏(消化器内科), 藤田覇留久(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医療技術局	西田なほみ(栄養部技師長), 西山祐子(歯科口腔外科副参事), 鄭智佳(薬剤部), 本里ゆかり(リハビリテーション部), 谷口昇(臨床検査部)
		看護局	仁志出幸子(6A副師長), 内田 祐代(6A), 佐藤伸一郎(7B), 中西若葉(8A), 中村美地子(5A)
事務局他	杉山功治(医事課)		
庶務担当		森口美由紀(栄養部)	
会議		随時開催	
活動内容		<p>〈会議〉</p> <p>●第1回 令和2年6月19日～7月15日まで メール会議 (1)「付加食摂取割合 記録システム」の導入について (2)NST 勉強会について</p> <p>●第2回 令和2年12月8日～12月23日まで メール会議 (1)令和2年度4～10月 NST 回診 件数報告 資料 NST ラウンド報告 2020 (2)令和2年度4～10月摂食機能療法 件数報告 資料 R2.4月～10月摂食機能療法 算定件数 (3)「付加食喫食量の経過表への記録」の導入について (4)NST 勉強会について (5)市立大津市民病院 経腸経管栄養マニュアル 2020年版(案)について</p> <p>〈NST 勉強会〉 案内チラシ作成、発行 アンケート作成、集計、報告</p>	

14. CDE 委員会

構成 人員	委員長	石井通予(栄養部診療部長)	
	副委員長	藤永純宏(8A)	
	メンバー	診療局	峠岡佑典(内科)
		医療技術局	西田なほみ(栄養部技師長), 早川太朗(薬剤部副薬剤長), 瀧井さち子(臨床検査部副技師長)
		看護局	堀田恵子(7B), 田邊智子(外来部), 小坂奈美(外来部)
事務局他	宮本啓代(医事課)		
庶務担当		山下亜希(外来部副師長)	
会議		随時開催	
活動内容		<p>今年度は COVID-19 の影響を考え、委員会の開催も困難であり、メール会議を中心に以下の活動実施とした。</p> <p>1. 血糖測定器保守点検実施 部署担当を振り分け、チェックリストに沿って担当者が保守点検を実施。エラー該当機器なし。 院内採用血糖測定器は昨年度変更予定であったが、COVID-19 対応のため、変更作業中断している。作業再開となれば、新機器に応じた保守点検方法へと変更していく予定。</p> <p>2. 自己注射/血糖測定器チェックリスト修正 2022.1 の電子カルテバージョンアップに合わせて経過表で自己注射・自己血糖測定手技指導の進捗状況を確認できるよう EXCEL チャートによるテンプレートを作成中。(前年度から継続)修正作業を重ねている段階にあり。</p>	

	<p>3. 院内スタッフ対象の勉強会実施 COVID-19 の状況を鑑みて今年度は実施なし。 次年度についても集合研修の開催が可能かを探りつつ、少人数制複数回の実施や録画による研修の実施など方策を考えていく予定としている。 研修再開に向けて、DM に対する院内のニーズをどう把握していくかも検討要課題と考えている。</p> <p>4. CDE 委員会内部での症例検討 糖尿病治療困難症例について CDE 委員がそれぞれの立場から検討を行うとしており、対象症例についても栄養部内で複数候補から 1 例決定していたが、委員会メンバーの集合が困難な環境にあり実施を見送りとしている。</p> <p>5. DM ツール周知活動 ツールについては血糖測定器の変更を待ってツールを修正する予定としており、現在は変更が進んでいないため保留している。院内のスタッフからの問い合わせ等は適宜、対応するよう活動を行っていた。</p>
--	--

15. 手術部運営委員会

構 成 人 員	委員長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	橋口光子(手術部診療部長)	
	メン バ ー	診 療 局	光吉明(副院長), 柳田正志(呼吸器外科診療部長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長), 藤原克次(心臓血管外科診療部長), 小池保志(眼科診療部長), 寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 貫野賢(皮膚科診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 小池忍(耳鼻咽喉科診療部長)
		医 療 技 術 局	高橋亮太(放射線部), 竹崎佐弥香(臨床工学部), 鄭智佳(薬剤部)
		看 護 局	高木文子(ICU 師長)
	事務局他	長田憲, 小向圭二(施設契約課)	
	庶務担当	吉田すみ子(手術部師長)	
	会 議	随時開催	
	活動内容	<p>臨時開催(メール会議) 期間:2020年4月13日(火)~4月17日(金) 【議題】 1. 感染スクリーニングのための問診について 2. 手術患者の入院日について 3. 今後の手術室運営および術後 ICU 管理について</p> <p>第1回開催(メール会議) 期間:2020年5月30日(土)~6月8日(月) 【議題】 1. COVID-19 感染症流行期における手術部の対応について 2. 周術期の常用内服薬に関する取り決めについて 3. 周術期外来について 4. 手術部関連の優先整備機器、購入進捗状況について 5. その他</p> <p>第2回開催(メール会議) 期間:2020年9月23日(水)~10月8日(木) 【議題】 1. 手術枠の変更について 2. 手術録画システムの不具合について</p>	

	<p>3. 手術部関連の医療機器購入および事業計画概要書の提出について</p> <p>4. その他</p> <p>第3回開催(メール会議)</p> <p>期間:2021年3月18日(土)~3月26日(金)</p> <p>【議題】</p> <p>1. COVID-19 流行期における手術部の対応について</p> <p>2. 麻酔科外来について</p> <p>3. 手術部関連医療機器購入進捗状況・運用について</p> <p>4. 手術用内視鏡システムの更新について</p> <p>5. 手術録画システムの不具合について</p>
--	---

16. 救急・集中治療部運営委員会

構成 人員	委員長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	高見史朗(診療局長), 千葉玲哉(救急診療科診療部長)	
	メ ン バ ー	診 療 局	廣田伸之(脳神経内科診療部長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 辻桂嗣(小児科), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科), 小林環(脳神経外科), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 村西謙太郎(救急診療科)
		医 療 技 術 局	早川太朗(薬剤部副薬剤長), 金子裕(臨床検査部), 吉村規子(臨床工学部副参事)
		看 護 局	高木文子(ICU 師長), 中里玉美(ER師長), 吉田修(ER), 森俊之(ICU)
	事 務 局 他	杉山功治(医事課)	
	庶務担当	澤山遼(地域医療連携室)	
	会 議	1回/年 開催	
	活 動 内 容	開催実績なし	

17. 化学療法委員会

構成 人員	委員長	益澤明(化学療法部診療部長)	
	副委員長	中尾光成(内科統括診療部長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 川島もと子(看護局参事)	
	メンバー	診療局	寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 平沼修(呼吸器内科診療部長), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 柴崎昇(泌尿器科), 中島潤(消化器内科)
		医療技術局	瀧井さち子(臨床検査部副技師長), 阿部史誉(薬剤部副参事), 小山加奈世(薬剤部)
		看護局	山田久美(外来部師長), 谷口敦美(8A 副師長), 田中美津子(8B 副師長), 木戸真由美(7A 副師長), 奥野あす香(外来部), 林美保(9A副師長), 飯田史朗(6A 副師長)
事務局他	宮本啓代(医事課), 杉江礼子(患者相談支援室)		
庶務担当		川勝政範(経営管理課)	
会議		1回/月 開催	
活動内容		開催日: 令和2年9月16日(メール会議) 議題: 物学的製剤レジメンの一部修正および取り扱いの変更について 化学療法レジメン承認部会 開催日: 令和2年6月24日、7月22日、8月4日、10月1日、11月10日、令和3 年1月22日 議題: 新規レジメン22項目について審査	

18. 薬事委員会

構成 人員	委員長	中嶋敏宏(副院長)	
	副委員長	中山英夫(薬剤部薬剤長)	
	メンバー	診療局	中尾光成(内科統括診療部長), 貫野賢(皮膚科診療部長), 城正泰(消化器内科), 戸田孝祐(外科・消化外科・乳腺外科)
		医療技術局	北川加奈子(医薬品情報管理室長), 太田李紗(薬剤部)
		看護局	仁志出幸子(6A 副師長)
事務局他	長田憲(施設契約課), 山川穂高(医事課)		
庶務担当		元持卓(施設契約課)	
会議		4回/年 開催	
活動内容		協議事項 1.新規申請医薬品について 2.院外処方専用医薬品について 3.後発医薬品について 4.登録の変更について 5.登録抹消医薬品について 6.院内製剤について 7.有害事象報告について	

19. 輸血療法委員会

構成 人員	委員長	中尾光成(輸血管理室長)	
	副委員長	光吉明(副院長)	
	メンバー	診療局	藤原克次(心臓血管外科診療部長), 小田隆太郎(救急診療科), 全圭夏(消化器内科), 柴崎昇(泌尿器科), 國本達哉(整形外科), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 森由美子(麻酔科)
		医療局	松井まり子(輸血管理室)
		看護局	西川美沙(9B)
事務局他		日向美和子(医療の質・安全管理室), 杉山功治(医事課) ※院外委員は必要時、大津市医師会委員	
庶務担当		三島賀美(輸血管理室)	
会議		隔月開催	
活動内容		<p>【定例報告】</p> <ol style="list-style-type: none"> 血液製剤購入量・廃棄量・廃棄リスト及び使用量・管理料について 輸血後感染症検査の実施状況について 輸血副作用報告について 輸血に関するインシデントについて 輸血に関する査定について 輸血チームの活動について <p>【その他の議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度の輸血療法委員会について(6月) 年度別血液製剤使用量、管理料と適正使用量収益、購入金額、廃棄率と廃棄金額(2019年度のグラフ)(6月) 依頼科別実施件数(2019年度のグラフ)(6月) 外部監査(輸血機能評価認定制度:I&A制度)の受審について(6月・8月・10月・2月・3月) 血漿交換症例(6月・8月) 大量輸血時の症例(10月・2月・3月) 遡及調査の情報提供について(2月・3月) アルブミン製剤の新規採用について(6月) アルブミン製剤の取り扱いについて(10月) 輸血後感染症検査の状況と、今後について(10月) TRALIとTACOの評価基準変更のお知らせについて(3月) 2020年度の輸血管理料と適正使用加算について(3月) 	

20. 緩和ケア診療・病棟運営委員会

構成 人員	委員長	津田真(緩和ケア科診療部長)	
	副委員長	堀田美紀(9A 看護師長)	
	メン バ ー	診療局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 益澤明(化学療法部診療部長), 橘強(外科・消化器外科・乳腺外科(乳腺部門)診療部長), 内藤英人(精神・心療内科), 堀居侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医療 技術局	神原諒(薬剤部), 藤永ちひろ(リハビリテーション部)
		看護局	林美保(9A 副看護師長)
事務局他	杉江礼子(患者相談支援室副参事), 藤川勇介(医事課)		
庶務担当		山澤弘子(地域医療連携室長)	
会議		1回/年 開催	
活動内容		<p>●メールによる報告・意見交換</p> <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア病棟の利用状況 緩和ケア病棟活動報告 <ol style="list-style-type: none"> 学習機会の提供 遺族会(ひだまりの会) 代替療法・ボランティア活動 一般病棟・外来での緩和ケア活動 こころの相談 	

21. 保険診療適正化委員会

構成 人員	委員長	中嶋敏宏(副院長)	
	副委員長	高野早人(事務局長)	
	メン バ ー	診療局	小橋裕明(整形外科診療部長), 寺村千俊(歯科口腔外科診療部長), 益澤明(消化器内科)
		医療 技術局	平田順一(リハビリテーション部技師長), 野々山裕己(放射線部), 田口なおみ(臨床検査部副参事), 山中理(薬剤部), 吉村規子(臨床工学部副参事)
		看護局	須佐美智子(看護局参事), 山極久美子(5A 師長)内田美智代(8A師長), 中里玉美(ER師長)
事務局他	鈴木幸子(医事課長), 辻泰明・沖野梓(医事課), 医療事務委託業者		
庶務担当		藤川勇介(医事課)	
会議		随時開催	
活動内容		<p>【第一回 保険診療についての院内講習会(ウェブ配信)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険診療と療養担当規則について <p>【第二回 保険診療についての院内講習会(ウェブ配信)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19 の算定について <p>【DPCコーディング専門部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回 症例検討(計8症例) ・診療報酬改定のDPC分析および各診療科へ周知 ・敗血症コーディングの件数分析 <p>【保険審査専門部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月査定及び返戻について検討 	

22. 診療業務等役割推進委員会

構成 人員	委員長	中尾光成(医療情報センター長)	
	副委員長	高野早人(事務局長)	
	メンバー	診療局	中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科), 安部倉友(脳神経外科)
		医療技術局	山内聡(放射線部副技師長), 松井里美(臨床検査部技師長), 辻淳子(薬剤部), 吉村規子(臨床工学部副参事)
		看護局	竹内須美子(3B 副師長), 木下朗子(ICU 副師長)
事務局他	太田周吾(総務課)		
庶務担当		中西みちる(医事課)	
会議		随時開催	
活動内容		<p>第1回診療業務等役割分担推進委員会 日にち:2021年3月12日(金) メールにて実施 会議概要 【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の医療従事者負担軽減計画の達成度評価 ・令和3年度医療従事者負担軽減計画目標設定 	

23. がん診療推進委員会

構成 人員	委員長	中尾光成(医療情報センター長)	
	副委員長	光吉明(副院長), 高見史朗(診療局長)	
	メンバー	診療局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 柳田正志(呼吸器外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 全圭夏(消化器内科), 柴崎昇(泌尿器科), 堀居侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医療技術局	阿部史誉(薬剤部副参事)
		看護局	奥野あす香(外来部), 大坪有紀子(9B)
事務局他	杉江礼子(患者相談支援室副参事), 寺田貴子(診療情報管理室), 杉山功治(医事課)		
庶務担当		高橋智枝子(患者相談支援室長)	
会議		随時開催	
活動内容		コロナの影響で開催せず。	

24. 特定行為看護師推進委員会

構成 人員	委員長		須佐美智子(看護局次長)
	副委員長		戸田省吾(副院長)
	メン バー	診療局	千葉玲也(救急診療科副診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長), 石井通予(糖尿病・内分泌部門診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長),
		医療 技術局	-
		看護局	貞廣純子(3B/ICU 主査), 水嶋将吾(3B/ICU), 森俊之(3B/ICU主査)
事務局他		-	
庶務担当		日向美和子(医療の質・安全管理室参事), 藤川勇介(医事課主事), 山澤弘子(地域医療連携室長)	
会議		随時開催	
活動内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議活動 今年度は、参集を避けてメール会議を実施した。 2. 特定行為活動内容 <ol style="list-style-type: none"> 1)看護師特定行為実施件数 <ul style="list-style-type: none"> ・動脈血血液ガス関連: 橈骨動脈ラインの確保: 30 件 (内訳: 入れ替え 13 件、新規挿入 17 件) ・直接動脈穿刺による採血: 2 件 ・気管カニューレ初回交換の介助: 1 件 2)新型コロナウイルス感染症対策に関するもの <ul style="list-style-type: none"> ・挿管者の安全を守る“intubation BOX”の作成 ・3B 病棟における挿管シミュレーションの仕組み作りと運用 ・PPE 脱衣チェックリスト作成 ・ICU における COVID-19 病床のゾーニング・レイアウト作成 3)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期人工呼吸管理 ・人工呼吸器 HAMILTON のリース使用に伴う、経肺圧の勉強会 ・ICU で行われる持続的インスリン静注療法に関するリスクについて資料作成 ・オーバートリートメントを防ぐための人工呼吸器の設定変更に関する手順書試作 ・気管切開カニューレの交換に関する手順書の試作 3. 教育活動(2020. 4~2021. 1) <ul style="list-style-type: none"> ・緊急挿管セットの作成、整備から挿管準備、人工呼吸管理教育の実施 ・院内クリティカルケアマニュアルの作成、講師活動 ・ヒューマリン持続注射の流量上限リーフレット ・手順書整備: 気管カニューレの交換、侵襲的陽圧換気の設定変更 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ICU での人工呼吸器カンファレンスの運営(7 月~3 月): 実施回数 7 回 ・RST 看護師回診の運営 ・ICU 内の緊急薬品、蘇生物品の配置見直し(3 月) ・特定行為研修協力施設に係る関係書類の作成 ・特定行為研修協力施設院内掲示用ポスターの作成 5. 2021 年度活動予定 <ol style="list-style-type: none"> 1)橈骨動脈ラインの確保の包括的指示下での実施に係る体制整備 2)気管カニューレ交換の技術的独立のためのトレーニング 3)RST 看護師回診の充実のための教育活動 (看護師対象の勉強会、RST 看護師回診記録の作成) 4)がん看護認定看護師特定行為研修受入(12 月) 	

25. 超音波診断装置管理委員会

構成 人員	委員長	戸田省吾(副院長)	
	副委員長	益澤明(消化器内科)	
	メンバー	診療局	木股正樹(循環器内科診療部長)
		医療技術局	金子裕(臨床検査部), 森亘平(臨床検査部), 上田紘平(臨床検査部)
		看護局	-
事務局他	福井悠介(経営管理課), 小向圭二(施設契約課)		
庶務担当	田口なおみ(臨床検査部)		
会議	随時開催		
活動内容	① 当院超音波装置配置位置の再検討 (2020年7月20日) ② コロナ助成金による新規購入装置決定と院内配置案 (2021年1月26日)		

◆ 病院運営関係

26. 安全衛生委員会

構成 人員	委員長	高野早人(事務局長)	
	副委員長	嶋林幸子(血液浄化部看護師長)	
	メンバー	診療局	高谷季穂(総合内科診療部長(産業医)), 畑讓(精神・心療内科診療部長(産業医)), 城正泰(消化器内科(産業医))
		医療技術局	戸田省吾(医療技術局長), 奥村廣一(臨床工学部)
看護局	渡邊良子(看護局長), 堤夏美(外来部副師長), 栗林久子(6A), 小寺美和子(5A), 角井里奈(7B), 井上祐子(6A)		
庶務担当	上野隆平(総務課長), 田中里衣(総務課(保健師)), 太田周吾(総務課)		
会議	1回/月 開催		
活動内容	・職場巡視の実施 ・ストレスチェックの結果報告 ・年次有給休暇の取得促進 ・セルフケア・ラインケア研修の立案 ・長時間労働対策の検討 ・その他、職員の安全衛生に係る事業		

27. 総合医療情報システム委員会

構成 人員	委員長	中尾光成(医療情報センター長)	
	副委員長	廣田伸之(脳神経内科診療部長), 渡邊良子(看護局長)	
	メンバー	診療局	中尾光成(臨床検査部診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 高見史朗(救急診療科診療部長)
		医療技術局	田口一也(臨床検査部副参事), 山中理(薬剤部)
		看護局	原田緑(7A副師長), 寺田麻子(3B副師長), 谷口敦美(8A副師長), 飯田史朗(6A副師長), 山下亜希(外来部副師長)
事務局他	堀瀬和雄(事務局次長), 松下光正(医療情報システム室長), 平井洋平(医療情報システム室), 長田憲(施設契約課)		
庶務担当	和田裕也(医療情報システム室)		
会議	随時開催		
活動内容	次の会議を行いました。 議題: 総合医療情報システムの更新について 日時: 令和3年3月11日(火) 形態: メール会議		

28. 情報セキュリティ委員会

構成 人員	委員長	中尾光成(医療情報センター長)	
	副委員長	高見史朗(診療局長)	
	メンバー	医療技術局	早川太朗(薬剤部副薬剤長)
		看護局	渡邊良子(看護局長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 堀瀬和雄(事務局次長), 松下光正(医療情報システム室長), 平井洋平(医療情報システム室)
庶務担当	和田裕也(医療情報システム室)		
会議	随時開催		
活動内容	会議はありませんでした。		

29. 広報委員会

構成 人員	委員長	光吉明(副院長)	
	副委員長	高見史朗(診療局長)	
	メンバー	診療局	峠岡佑典(内科), 田中順子(健診センター診療部長)
		医療技術局	三島賀美(臨床検査部), 嘉数隼人(臨床工学部)
		看護局	西村由香(看護局参事), 吉田すみ子(手術部師長), 嶋林幸子(血液浄化部師長)
事務局他		高野早人(事務局長), 澤山遼(地域医療連携室)	
庶務担当	加藤淳子(経営管理課)		
会議	随時開催		
活動内容	【開催実績】 病院広報誌、病院年報等、病院広報活動の報告・情報共有と協議を行った。 第1回:2020年7月1日(水) ←Web会議方式 第2回:2020年9月16日(水) ←Web会議方式 第3回:2021年1月6日(水) ←Web会議方式		

30. 医療機器選定委員会

構成 人員	委員長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	光吉明(副院長)	
	メンバー	診療局	戸田省吾(副院長), 高見史朗(診療局長), 千葉玲也(救急診療科副診療部長)
		医療技術局	南一男(放射線部技師長), 松井里美(臨床検査部技師長), 竹崎佐弥香(臨床工学部副参事)
		看護局	吉田すみ子(手術部師長), 木下朗子(ICU副師長)
事務局他		高野早人(事務局長), 福井悠介(経営管理課), 大石達也(施設契約課長)	
庶務担当	長田憲(施設契約課)		
会議	随時開催		
活動内容	機器の購入又は賃借について協議し、選定等を行った 機器選定大委員会 計6回開催 機器選定小委員会 計7回開催 また、その他医療機器等のデモンストレーションについても、承認を随時行った		

31. 物品購入委員会

構成 人員	委員長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	高見史朗(診療局長)	
	メン バー	診療局	橘強(外来通院手術部診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 中條卓也(循環器内科), 藤野光洋(救急診療科)
		医療 技術局	田口一也(臨床検査部副参事), 小野真二(放射線部副技師長), 上田紘平(臨床工学部)
		看護局	西村由香(看護局参事), 高橋智都子(手術部副師長)
事務局他	堀瀬和雄(経営管理課長)		
庶務担当		元持卓(施設契約課)	
会議		1回/月 開催	
活動内容		2020年6月25日(木) メールにて電子会議 1 物品購入申請について 2020年7月27日(月) メールにて電子会議 1 物品購入申請について 2020年8月25日(火) メールにて電子会議 1 物品購入申請について 2020年9月30日(水) メールにて電子会議 1 物品購入申請について 2020年12月23日(水) メールにて電子会議 1 物品購入申請について 2021年3月30日(火) メールにて電子会議 1 物品購入申請について	

32. 病院機能評価委員会

構成 人員	委員長	若林直樹(院長)	
	副委員長	中嶋敏宏(副院長)	
	メン バー	診療局	峠岡佑典(内科), 辻桂嗣(小児科), 和田卓馬(歯科口腔外科)
		医療 技術局	辻淳子(薬剤部), 中里有里子(臨床検査部), 坂東大輔(放射線部), 小野真紀(リハビリテーション部), 上田紘平(臨床工学部), 森口美由紀(栄養部)
		看護局	川島もと子(看護局参事), 仁志出幸子(6A副師長), 桑山隆洋(7B), 谷口敦美(8A副師長), 山田久美(外来部師長), 高橋智都子(手術部副師長)
事務局他	鈴木幸子(医事課長), 西津剛志(施設契約課), 元持卓(施設契約課), 川勝政範(経営管理課), 神山果歩(経営管理課), 太田周吾(総務課)		
庶務担当		宮本直樹(総務課), 田中梨奈(総務課)	
会議		1回/月 開催	
活動内容		病院機能評価受審及び病院機能の質向上に向け、委員が内部監査員となり内部監査を実施。 第1回: 令和2年10月 第2回: 令和3年2月	

◆ 地域医療関係

33. 地域医療連携推進協議会(旧 地域医療支援委員会)

構成人員	委員長		重永博(天津市医師会長)
	メンバー	診療局	若林直樹(院長), 光吉明(副院長), 中嶋敏宏(地域医療連携室担当部長), 高見史朗(診療局長)
		医療技術局	北川加奈子(医薬品情報管理室長)
		看護局	渡邊良子(看護局長)
		事務局他	高野早人(事務局長), 鈴木幸子(医事課長) その他院外委員
庶務担当		山澤弘子(地域医療連携室長)	
会議		2回/年 開催	
活動内容		<p>第1回【全体会】 開催日: 令和2年10月22日(木) 会議内容: 1. 委員の紹介、委員長・副委員長・部会長の選出 2. 議題 1) 年間スケジュール 2) COVID-19 対応について 3) 報告事項 (1) 経営幹部体制変更について (2) 新病院理念の策定について (3) 地域医療連携室・入退院センターの組織変更について (4) 各種イベントの中止について 4) 当院地域医療連携についてのご意見・ご要望</p> <p>第2回【医療関係団体部会】 開催日: 令和3年2月18日(木) 会議内容: 1. 報告・協議事項 1) 病診連携状況について 2) 救急受入状況について 3) 感染症 ER 運用状況について 4) 当院についてのご意見・ご要望 5) その他</p>	

34. 地域災害医療対策委員会

構成人員	委員長		中嶋敏宏(地域医療連携室担当部長)
	副委員長		千葉玲哉(救急診療科副診療部長), 高野早人(事務局長)
	メンバー	診療局	中嶋敏宏(副院長), 小橋裕明(整形外科診療部長)
		医療技術局	山藤隆晃(臨床検査部), 西田なほみ(栄養部), 神原諒(薬剤部), 廣瀬元(臨床工学部)
		看護局	中里玉美(3B 師長), 水嶋将吾(ICU), 中野淳子(3B), 森俊之(ICU)
事務局他		上野隆平(総務課長), 鈴木幸子(医事課長), 大石達也(施設契約課長)	
庶務担当		宮本直樹(総務課)	
会議		随時開催	
活動内容		今年度活動なし	

35. 訪問看護ステーション運営懇談会

構成 人員	院 外	重永博(大津市医師会長)
	診 療 局	中嶋敏宏(地域医療連携室担当部長)
	看 護 局	仁志出幸子(6A 副師長)
	事務局他	鈴木幸子(訪問看護ステーション参事) その他院外委員
庶務担当		上林五月(訪問看護ステーション副所長)
会 議		1回/年 開催
活動内容		コロナ禍において、運営懇談会を開催できていません。

◆ 倫理・研究・教育関係

36. 医療倫理委員会

構成 人員	委 員 長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	須佐美智子(看護局参事)	
	メ ン バ ー	診 療 局	中嶋敏宏(副院長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 藤原克次(心臓血管外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長), 中澤純(内科(腎臓内科)診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長代行(薬剤長)), 田口一也(臨床検査部副参事)
		看 護 局	川島もと子(看護局参事), 内田美智代(8A 師長), 山田久美(8B 師長)
事務局他	高野早人(事務局長) 必要に応じて院外委員		
庶務担当		山元春奈, 田中梨菜(総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容		令和2年度医療倫理委員会(全23回) 協議: 身体抑制に関する協議	

37. 受託研究審査委員会

構成 人員	委 員 長	七里泰正(副院長)	
	副委員長	藤原克次(心臓血管外科診療部長)	
	メ ン バ ー	診 療 局	中嶋敏宏(副院長), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(薬剤部薬剤長), 瀧井さち子(臨床検査部副技師長)
		看 護 局	西村由香(看護局次長)
事務局他	上野隆平(総務課長)		
庶務担当		富江新(治験管理センター)	
会 議		随時開催	
活動内容		開催実績なし	

38. 研究利益相反審査委員会

構成 人員	委員長	若林直樹(院長)	
	副委員長	西村由香(看護局次長)	
	メンバー	診療局	七里泰正(副院長), 中嶋敏宏(副院長), 中尾光成(内科統括診療部長), 藤原克次(心臓血管外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長)
		医療技術局	中山英夫(薬剤部薬剤長)
		看護局	西村由香(看護局次長)
庶務担当	富江新(治験管理センター)		
会議	随時開催		
活動内容	開催実績なし		

39. 学術図書委員会

構成 人員	委員長	石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)	
	副委員長	吉田尚平(内科)	
	メンバー	診療局	光吉明(副院長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 中島潤(消化器内科), 峠岡佑典(内科), 益澤尚子(病理診断科診療部長)
		医療技術局	中里有里子(臨床検査部), 早川太朗(薬剤部副薬剤長), 坂東大輔(放射線部), 生田悦子(リハビリテーション部), 奥村博一(臨床工学部), 新田綺咲(栄養部)
		看護局	奥村紀子(7B師長), 吉田律美(6A 師長)
事務局他		神山果歩(経営管理課)	
庶務担当	山元春奈, 田中梨奈(総務課)		
会議	随時開催		
活動内容	第1回開催日: 令和2年9月7日(月) 議題: 1, 購読雑誌について 2, 病院雑誌(第22号)について 3, 図書館の管理・運営について 第2回開催日: 令和2年11月11日(水) 議題: 1, 年間購読雑誌の購入について 2, 規約・ガイドラインの購入について		

40. 脳死判定委員会

構成 人員	委員長	廣田伸之(脳神経内科診療部長)	
	副委員長	千葉玲哉(救急診療科診療部長)	
	メンバー	診療局	高見史朗(診療局長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長)
		医療技術局	中山英夫(薬剤部薬剤長), 田口なおみ(臨床検査部副参事)
		看護局	横谷恵(6B師長), 高木文子(ICU 師長)
事務局他		高野早人(事務局長), 日向美和子(医療の質・安全管理室参事)	
庶務担当	宮本直樹(総務課)		
会議	随時開催		
活動内容	今年度活動なし		

41. 医科臨床研修管理委員会

構成 人員	委員長		若林直樹(院長)
	副委員長		城正泰(臨床研修センター長)
	メンバー	診療局	高見史朗(診療局長), 橘強(臨床研修センター次長), 中澤純(臨床研修センター次長), 中嶋敏宏(小児科診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長), 千葉玲也(救急診療科副診療部長), 岡本拓希, 橋本開(臨床研修センター(研修医))
		医療技術局	戸田省吾(医療技術局長)
		看護局	渡邊良子(看護局長)
事務局他		高野早人(事務局長) 院外委員 20 名	
庶務担当		山元春奈, 宮本直樹(臨床研修センター)	
会議		年 3 回開催	
活動内容		<p>第 1 回開催日：令和 2 年 7 月 27 日 議題： 1, 令和 2 年度研修医について 2, 令和 2 年度研修医ローテーションについて 3, 令和 2 年度地域医療研修について 4, 令和 3 年度市立大津市民病院初期臨床研修プログラムについて 5, 令和 3 年度研修医 募集要項およびスケジュールについて 6, 未修了者にかかる研修計画について</p> <p>第 2 回開催日：令和 2 年 10 月 8 日 議題： 1, 研修中間評価 2, 研修体制について 3, 研修医アンケート統括（意見交換） 4, その他</p> <p>第 3 回開催日：令和 3 年 3 月 8 日 議題： 1, 令和 2 年度研修概要について 2, 平成 30・31 年度研修医の進路及び令和 3 年度研修予定者について 3, 令和 3 年度臨床研修体制について 4, 平成 30・31 年度研修医の修了認定について</p>	

42. 歯科臨床研修管理委員会

構成 人員	委員長		若林直樹(院長)
	副委員長		城正泰(臨床研修センター長)
	メンバー	診療局	寺村千俊(歯科口腔外科診療部長)橘強(臨床研修センター次長), 中澤純(臨床研修センター次長)
事務局他		古藤博司(大津市歯科医師会(K Dental Clinic)), 高野早人(事務局長)	
庶務担当		山元春奈, 宮本直樹(臨床研修センター)	
会議		年 2~3 回開催	
活動内容		<p>第 1 回開催日：令和 2 年 7 月 20 日 議題： 1、令和 3 年度歯科医師臨床研修プログラムについて 2、令和 3 年度歯科研修医募集要項およびスケジュールについて</p>	

43. 院内教育・研修委員会

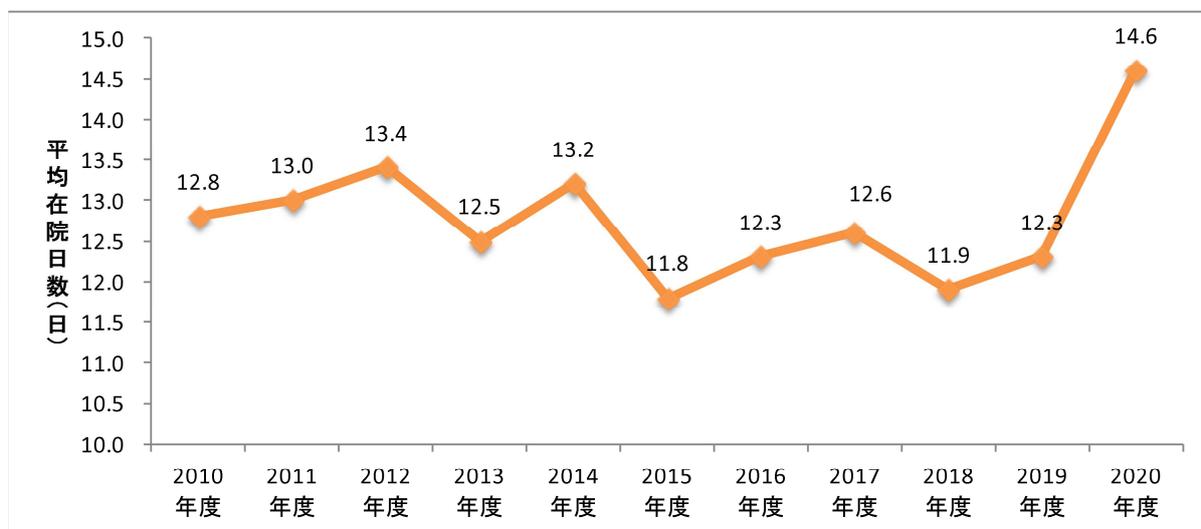
構 成 人 員	委員長	光吉明(副院長)	
	副委員長	高野早人(事務局長), 西村由香(看護局次長)	
	メ ン バ ー	診療局	橘強(外科・消火器外科・乳腺外科(乳腺部門)診療部長), 城正泰(消化器内科)
		医療技術局	吉村規子(臨床工学部副技師長), 田口一也(臨床検査部参事)
		看護局	原田緑(7A師長), 奥村紀子(7B師長)
事務局他	難波紀代子(患者相談支援室), 荒銭浩太郎(総務課), 西津剛志(施設契約課)		
庶務担当		富江新, 山元春奈(総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容		<p>第1回開催日:令和2年7月27日 議題:市立大津市民病院 職員研修体系の構築について</p> <p>第2回開催日:令和2年8月19日 議題:市立大津市民病院 職員研修体系の決定事項について</p> <p>第3回開催日:令和3年3月22日 議題:報告事項について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 委託予定業者の契約辞退について 2, 令和3年4月 新規採用職員の研修について 3, 今後のスケジュールについて 	

統計資料

【平均在院日数年次推移】

(単位:日)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
平均在院日数	12.8	13.0	13.4	12.5	13.2	11.8	12.3	12.6	11.9	12.3	14.6



【平均在院日数年次推移(診療科別)】

(単位:日)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年同期差
内科	15.6	14.4	14.6	14.6	13.9	-0.7
消化器内科	8.6	7.7	8.2	7.7	10.7	3.0
呼吸器内科	15.0	17.3	17.7	16.1	18.2	2.1
呼吸器外科	4.6	5.3	4.6	5.4	5.9	0.5
小児科	5.8	5.5	5.2	4.0	4.6	0.6
外科	9.3	10.2	12.0	10.4	11.7	1.3
整形外科	17.4	16.9	15.6	15.1	17.3	2.2
産婦人科	11.1	9.9	9.4	6.5	7.2	0.7
眼科	3.1	2.6	2.7	1.3	1.4	0.1
耳鼻咽喉科	5.5	6.4	5.9	4.9	7.2	2.3
泌尿器科	10.7	9.8	10.5	10.3	9.8	-0.5
皮膚科	11.8	13.4	13.9	14.5	15.2	0.7
歯科口腔外科	3.7	3.4	3.2	2.1	1.9	-0.2
脳神経外科	14.7	13.6	12.8	13.6	17.7	4.1
脳神経内科	15.6	16.3	15.3	14.4	18.2	3.8
心臓血管外科	7.8	8.6	8.0	6.6	12.0	5.4
循環器内科	7.3	7.5	8.9	9.1	10.3	1.2
精神・心療内科	4.6	5.7	7.5	9.2	16.5	7.3
緩和ケア科	25.8	26.4	24.2	20.9	10.4	-10.5
病院全体	12.3	12.6	11.9	12.3	14.6	2.3

【2020 年度 診療科別患者数(入院・外来)】

(単位:人)

診療科	入院患者数		外来患者数	
	年間延患者数	1日平均患者数	年間延患者数	1日平均患者数
内科	19,769	54.0	28,695	118.1
消化器内科	15,339	41.9	16,163	66.5
呼吸器内科	9,936	27.1	8,838	36.4
呼吸器外科	1,384	3.8	1,171	4.8
小児科	964	2.6	5,687	23.4
外科	9,541	26.1	10,167	41.8
整形外科	8,707	23.8	13,462	55.4
産婦人科	83	0.2	3,507	14.4
眼科	303	0.8	6,391	26.3
耳鼻咽喉科	1,088	3.0	6,027	24.8
泌尿器科	6,665	18.2	9,925	40.8
皮膚科	1,676	4.6	9,056	37.3
歯科口腔外科	846	2.3	10,723	44.1
放射線科	0	0	2,453	10.1
脳神経外科	8,119	22.2	7,030	28.9
脳神経内科	8,004	21.9	6,028	24.8
心臓血管外科	2,166	5.9	2,531	10.4
循環器内科	7,594	20.7	12,878	53.0
精神・心療内科	489	1.3	8,502	35.0
緩和ケア科	1,393	3.8	82	0.3
感染症科	0	0	-	-
合計	104,066	284.3	169,715	698.4

※入院日数 366日 外来診療日数 243日

※入院については、転棟・転科を除く。

【2020年度 入院患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新入院患者 下段…入院患者延べ数

	内科	消化器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	形成外科
4月	83	86	36	14	14	65	27	0	4	15	57	1	0
	1,811	1,304	905	176	66	845	886	0	11	104	535	66	0
5月	56	64	41	7	9	40	14	2	6	9	49	7	0
	1,441	919	842	56	47	664	371	7	12	89	585	118	0
6月	79	111	38	9	11	62	33	1	10	13	58	6	0
	1,383	1,188	835	95	40	758	504	12	19	83	594	97	0
7月	91	108	43	15	23	84	33	1	7	14	44	12	0
	1,494	1,198	873	176	78	905	756	17	15	139	496	177	0
8月	129	120	44	9	22	69	27	2	7	18	48	9	0
	2,166	1,596	956	95	88	867	640	19	14	116	420	206	0
9月	96	119	31	11	15	64	34	0	13	12	46	4	0
	1,807	1,497	830	135	82	910	522	5	26	90	508	116	0
10月	83	108	50	11	27	62	42	1	15	19	45	11	0
	1,625	1,398	909	76	122	605	929	12	30	106	629	143	0
11月	89	112	33	10	26	63	38	0	13	16	46	10	0
	1,455	1,235	863	121	125	837	836	0	24	120	671	226	0
12月	110	112	37	12	28	63	35	0	18	13	44	1	0
	1,805	1,331	781	120	145	846	818	0	38	89	535	107	0
1月	77	90	28	11	19	61	34	0	15	8	32	3	0
	1,870	1,204	745	98	50	859	716	0	30	49	477	136	0
2月	82	102	25	12	17	48	36	0	12	7	54	7	0
	1,428	1,181	744	104	60	648	708	10	24	33	630	109	0
3月	95	117	29	12	13	65	42	0	30	15	58	12	0
	1,484	1,288	653	132	61	797	1,021	1	60	70	585	175	0
合計	1,070	1,249	435	133	224	746	395	7	150	159	581	83	0
	19,769	15,339	9,936	1,384	964	9,541	8,707	83	303	1,088	6,665	1,676	0
	歯科	放射線科	脳神経	心臓血管	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計	入院	退院		
4月	19	0	18	7	26	41	1	3	517				
	72	0	639	111	712	683	50	157	9,133	517	596		
5月	1	0	13	4	12	28	1	0	363				
	2	0	420	137	479	410	3	1	6,603	363	389		
6月	4	0	21	6	33	35	2	1	533				
	8	0	465	74	654	464	70	6	7,349	533	468		
7月	33	0	35	15	35	40	4	12	649				
	86	0	614	197	835	458	80	283	8,877	649	615		
8月	32	0	25	13	30	39	2	3	648				
	87	0	817	181	819	504	63	196	9,850	648	656		
9月	35	0	29	14	34	48	2	0	607				
	100	0	656	230	776	544	47	25	8,906	607	604		
10月	27	0	32	12	32	59	0	2	638				
	77	0	730	221	757	679	31	205	9,284	638	655		
11月	29	0	24	15	26	67	3	7	627				
	91	0	754	194	652	807	47	222	9,280	627	628		
12月	33	0	33	16	27	60	1	3	646				
	101	0	765	290	618	868	37	226	9,520	646	681		
1月	15	0	19	4	15	48	0	1	480				
	43	0	702	178	502	778	14	65	8,516	480	502		
2月	30	0	37	9	24	56	2	2	562				
	89	0	656	170	528	676	12	7	7,817	562	522		
3月	34	0	30	8	30	52	3	0	645				
	90	0	901	183	672	723	35	0	8,931	645	649		
合計	292	0	316	123	324	573	21	34	6,915				
	846	0	8,119	2,166	8,004	7,594	489	1,393	104,066	6,915	6,965		

※上段の新入院患者数には転棟・転科分を含んでいない。

【2020年度 外来患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新患者

	内科	消化器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	形成外科
4月	346	66	28	6	39	21	41	6	6	33	27	38	3
	2,412	1,166	738	103	338	799	934	251	485	419	793	559	30
5月	240	37	20	3	25	17	40	3	3	24	19	31	1
	2,085	919	543	67	307	714	826	181	436	353	679	488	23
6月	191	112	25	5	50	33	83	8	16	51	34	70	1
	2,210	1,399	730	86	477	917	1,066	320	565	554	865	707	35
7月	331	130	28	9	59	32	100	11	21	51	37	112	3
	2,470	1,394	761	109	487	909	1,148	300	535	552	846	886	29
8月	506	139	37	5	52	37	98	7	24	50	37	115	1
	2,661	1,241	729	84	554	803	1,166	242	525	515	804	877	33
9月	272	152	29	8	75	17	107	12	17	38	34	99	0
	2,339	1,462	717	103	498	886	1,135	342	513	492	875	866	24
10月	259	184	66	4	63	34	143	7	23	44	27	95	4
	2,358	1,603	834	111	507	896	1,228	368	576	596	918	855	45
11月	319	163	61	5	64	34	123	4	17	36	28	89	4
	2,248	1,402	753	87	446	841	1,178	310	523	475	754	753	39
12月	434	119	39	3	92	27	118	14	20	44	25	74	1
	2,579	1,434	780	92	521	838	1,298	302	624	510	862	831	42
1月	584	117	32	3	88	26	78	7	5	31	19	60	1
	2,623	1,276	731	118	495	817	1,056	216	470	419	806	677	27
2月	323	122	31	2	76	19	89	14	10	47	37	71	1
	2,203	1,267	701	107	461	760	1,064	259	505	503	771	701	33
3月	331	153	39	2	81	35	107	9	23	51	33	70	0
	2,507	1,600	821	104	596	987	1,363	416	634	639	952	856	39
合計	4,136	1,494	435	55	764	332	1,127	102	185	500	357	924	20
	28,695	16,163	8,838	1,171	5,687	10,167	13,462	3,507	6,391	6,027	9,925	9,056	399
	歯科	矯正歯科	放射線科	脳神経	心臓血管	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計			
4月	167	0	29	26	3	22	34	19	1	961			
	765	0	140	508	153	412	1,042	695	5	12,747			
5月	118	0	20	30	2	14	13	18	0	678			
	516	0	172	400	164	366	825	593	8	10,665			
6月	248	0	69	64	10	55	36	22	1	1,184			
	809	0	220	599	255	525	1,071	643	8	14,061			
7月	269	0	72	89	12	50	25	31	4	1,476			
	963	0	189	635	244	541	1,130	736	11	14,875			
8月	229	0	60	44	7	42	43	24	0	1,557			
	865	0	199	552	201	505	1,051	672	6	14,285			
9月	260	0	82	77	11	51	30	36	0	1,407			
	908	0	225	647	238	540	1,061	765	9	14,645			
10月	295	0	86	89	11	56	46	31	2	1,569			
	1,122	0	205	666	221	569	1,245	787	6	15,716			
11月	260	0	89	83	9	44	52	25	2	1,511			
	945	0	252	623	203	517	1,075	754	9	14,187			
12月	266	0	44	72	6	43	35	22	3	1,501			
	999	0	215	619	225	527	1,177	741	8	15,224			
1月	221	0	62	61	6	24	26	15	2	1,468			
	878	0	171	518	191	453	1,049	676	6	13,673			
2月	250	0	70	76	6	48	38	21	1	1,352			
	865	0	214	566	172	476	929	661	3	13,221			
3月	305	0	98	94	12	62	37	22	1	1,565			
	1,088	0	251	697	264	597	1,223	779	3	16,416			
合計	2,888	0	781	805	95	511	415	286	17	16,229			
	10,723	0	2,453	7,030	2,531	6,028	12,878	8,502	82	169,715			

【入院患者数推移(年度別月別)】

入院	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
延べ患者数	2020	9,133	6,603	7,349	8,877	9,850	8,906	9,284	9,280	9,520	8,516	7,817	8,931	104,066	8,672	
		85.9	61.9	75.7	94.9	100.8	90.4	93.4	93.3	94.5	83.0	79.4	85.8	86.4		
	2019	10,630	10,670	9,711	9,358	9,774	9,857	9,941	9,942	10,075	10,266	9,849	10,405	120,478	10,040	
		102.8	96.9	91.3	87.5	88.1	97.1	101.7	96.3	100.2	96.3	96.1	93.8	95.6		
	2018	10,345	11,007	10,639	10,691	11,100	10,152	9,774	10,324	10,055	10,661	10,247	11,089	126,084	10,507	
		98.0	104.3	108.9	106.4	110.3	98.7	86.8	94.7	88.7	95.6	101.0	102.5	99.4		
	2017	10,552	10,557	9,769	10,047	10,060	10,283	11,257	10,900	11,340	11,148	10,141	10,814	126,868	10,572	
		92.4	96.2	90.2	88.9	88.0	94.1	105.7	103.5	99.4	101.9	94.3	97.1	95.9		
	2016	11,421	10,971	10,829	11,303	11,431	10,926	10,648	10,535	11,404	10,944	10,752	11,136	132,300	11,025	
		98.2	96.9	100.6	103.1	105.4	104.6	96.7	106.2	102.7	96.1	96.7	97.0	100.2		
	入院患者数	2020	517	363	533	649	648	607	638	627	646	480	562	645	6,915	576
			67.1	48.7	73.5	92.7	89.3	86.8	88.9	87.6	93.5	66.3	83.3	100.2	81.0	
2019		770	745	725	700	726	699	718	716	691	724	675	644	8,533	711	
		99.5	93.1	96.5	86.8	86.8	95.2	89.6	88.4	98.6	91.0	90.2	87.5	91.8		
2018		774	800	751	806	836	734	801	810	701	796	748	736	9,293	774	
		98.6	98.5	95.8	92.3	98.4	92.7	93.4	95.7	83.9	94.3	98.4	87.7	94.1		
2017		785	812	784	873	850	792	858	846	836	844	760	839	9,879	823	
		89.7	97.2	91.1	98.3	88.8	94.6	97.1	98.1	99.8	93.2	93.7	97.6	94.9		
2016		875	835	861	888	957	837	884	862	838	906	811	860	10,414	868	
		109.1	110.3	105.1	103.1	113.8	103.6	102.3	103.1	95.9	104.6	93.2	95.9	103.2		
退院患者数		2020	596	389	468	615	656	604	655	628	681	502	522	649	6,965	580
			75.5	52.8	63.0	89.9	89.0	88.2	92.4	88.0	89.0	77.3	79.7	97.6	81.6	
	2019	789	737	743	684	737	685	709	714	765	649	655	665	8,532	711	
		101.8	96.5	93.0	87.6	87.2	90.0	89.1	91.2	97.0	93.1	88.9	85.6	91.7		
	2018	775	764	799	781	845	761	796	783	789	697	737	777	9,304	775	
		97.1	95.9	97.4	91.8	101.7	96.5	93.5	94.0	88.4	91.8	94.0	91.6	94.4		
	2017	798	797	820	851	831	789	851	833	893	759	784	848	9,854	821	
		88.0	101.5	93.8	94.8	89.5	91.9	94.5	105.0	89.3	96.7	97.3	95.2	94.5		
	2016	907	785	874	898	929	859	901	793	1,000	785	806	891	10,428	869	
		110.2	98.9	107.0	104.9	112.1	105.5	96.0	102.5	107.4	100.6	94.5	98.5	103.1		
	1日平均患者数	2020	304	213	245	286	318	297	299	309	307	275	279	288	-	285
			85.9	61.9	75.6	94.7	101.0	90.3	93.1	93.4	94.5	83.1	82.1	85.7	-	86.6
2019		354	344	324	302	315	329	321	331	325	331	340	336	-	329	
		102.6	96.9	91.3	87.5	88.0	97.3	101.9	96.2	100.3	96.2	92.9	93.9	-	95.3	
2018		345	355	355	345	358	338	315	344	324	344	366	358	-	345	
		98.0	104.1	108.9	106.5	110.2	98.5	86.8	94.8	88.5	95.6	101.1	102.6	-	99.4	
2017		352	341	326	324	325	343	363	363	366	360	362	349	-	348	
		92.4	96.3	90.3	88.8	88.1	94.2	105.8	103.4	99.5	102.0	94.3	97.2	-	95.9	
2016		381	354	361	365	369	364	343	351	368	353	384	359	-	362	
		98.2	97.0	100.6	103.1	105.4	104.6	96.6	106.0	102.8	96.2	100.3	97.0	-	100.5	
平均在院日数(全体) (日)		2020	13.5	14.7	15.7	15.6	14.9	14.7	14.5	14.1	13.8	14.7	14.5	14.6		
		2019	12.5	12.6	12.2	12.1	11.7	11.7	11.9	12.1	12.3	12.5	12.8	12.4		
	2018	12.6	12.6	12.6	12.2	11.8	11.5	11.3	11.1	11.2	11.5	12.2	12.4			
	2017	12.8	13.0	12.9	11.9	11.6	12.2	12.7	12.9	12.6	12.8	12.7	12.7			
	2016	12.1	12.5	12.8	12.7	12.3	12.3	12.2	12.2	12.0	12.1	12.1	12.2			

※上段の新入院患者数には転棟・転科分を含んでいない。

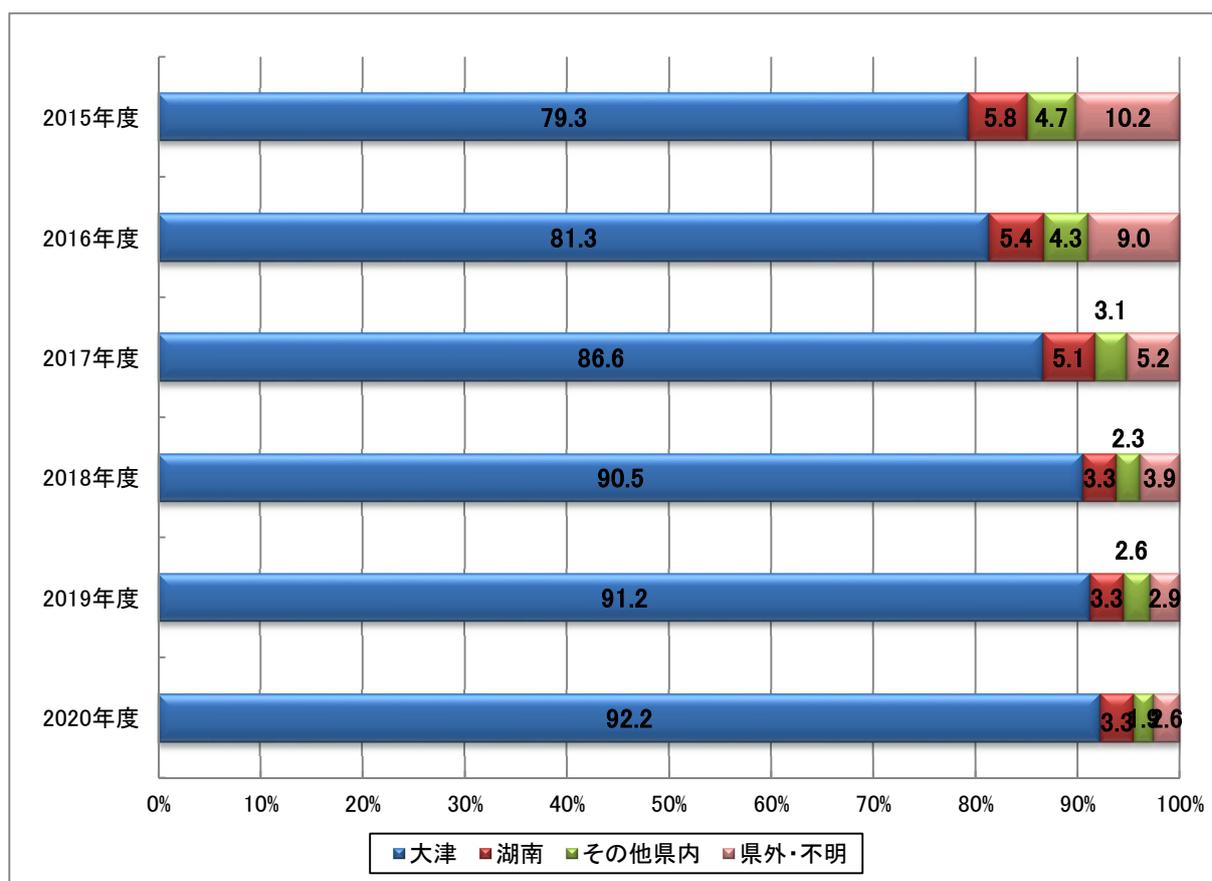
【外来患者数推移(年度別月別)】

外来	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ患者数	2020	12,747	10,665	14,061	14,875	14,285	14,645	15,716	14,187	15,224	13,673	13,221	16,416	169,715	14,143
		71.9	61.6	84.8	84.0	86.3	92.0	92.0	88.3	89.8	83.7	90.1	106.1	85.5	
延べ患者数	2019	17,728	17,309	16,590	17,712	16,558	15,922	17,075	16,073	16,947	16,345	14,679	15,471	198,409	16,534
		106.3	96.9	95.1	100.1	89.8	99.3	92.3	92.3	97.4	91.8	87.3	85.0	94.4	
上段:人	2018	16,680	17,869	17,449	17,696	18,430	16,037	18,496	17,410	17,395	17,806	16,813	18,206	210,287	17,524
		96.2	98.2	92.7	99.5	96.8	89.3	100.3	97.9	94.8	98.7	95.7	95.3	96.3	
下段:% (対前年度同月比)	2017	17,337	18,197	18,824	17,777	19,033	17,957	18,439	17,778	18,356	18,033	17,569	19,101	218,401	18,200
		95.6	102.7	99.9	96.9	98.9	99.5	100.3	97.0	99.9	99.8	100.8	97.7	99.1	
	2016	18,126	17,716	18,836	18,339	19,238	18,041	18,375	18,335	18,377	18,068	17,431	19,557	220,439	18,370
		95.3	98.8	95.1	91.9	101.8	96.9	92.7	99.5	95.2	98.6	92.0	94.9	96.0	
1日平均患者数	2020	607	593	639	708	714	732	714	747	761	720	735	714	-	698
		68.5	65.1	77.0	88.0	90.6	87.4	87.8	92.9	89.8	83.7	90.1	96.9	-	84.4
1日平均患者数	2019	886	911	830	805	788	838	813	804	847	860	816	737	-	827
		106.2	107.1	99.9	95.5	98.4	94.1	96.7	97.0	92.5	91.8	92.2	81.0	-	95.9
上段:人	2018	834	851	831	843	801	891	841	829	916	937	885	910	-	862
		96.2	93.5	97.1	94.8	92.6	101.5	95.8	93.3	99.8	98.7	95.7	100.0	-	96.3
下段:% (対前年度同月比)	2017	867	910	856	889	865	878	878	889	918	949	925	910	-	895
		95.7	97.6	100.0	96.9	99.0	97.3	95.5	96.9	94.9	99.8	106.1	102.4	-	98.7
	2016	906	932	856	917	874	902	919	917	967	951	872	889	-	907
		100.0	93.5	95.0	101.1	97.1	92.0	97.4	94.6	95.2	98.5	92.0	94.9	-	96.4
新患者数	2020	961	678	1,184	1,476	1,557	1,407	1,569	1,511	1,501	1,468	1,352	1,565	16,229	1,352
		53.4	37.5	74.2	91.3	98.0	88.2	98.6	96.3	81.8	78.2	99.6	116.4	82.9	
新患者数	2019	1,799	1,810	1,596	1,616	1,588	1,596	1,591	1,569	1,836	1,877	1,358	1,344	19,580	1,632
		101.0	95.2	90.5	82.7	80.2	96.8	88.7	92.3	98.9	77.8	75.4	72.3	87.2	
上段:人	2018	1,782	1,902	1,763	1,953	1,979	1,649	1,794	1,700	1,856	2,412	1,800	1,860	22,450	1,871
		97.4	95.4	87.0	98.3	87.6	86.6	92.5	91.3	90.2	97.3	80.4	94.3	91.5	
下段:%	2017	1,829	1,993	2,027	1,986	2,259	1,905	1,939	1,861	2,057	2,479	2,238	1,973	24,546	2,046
		98.2	105.6	97.2	94.3	99.0	101.9	97.0	93.2	97.6	106.0	107.1	92.4	99.1	
	2016	1,863	1,888	2,085	2,106	2,281	1,869	2,000	1,997	2,108	2,339	2,089	2,136	24,761	2,063
		89.6	88.7	96.2	93.3	105.4	85.7	94.7	95.9	98.6	114.3	93.5	89.2	95.3	

【地域構成比年次推移(入院)】

(単位:%)

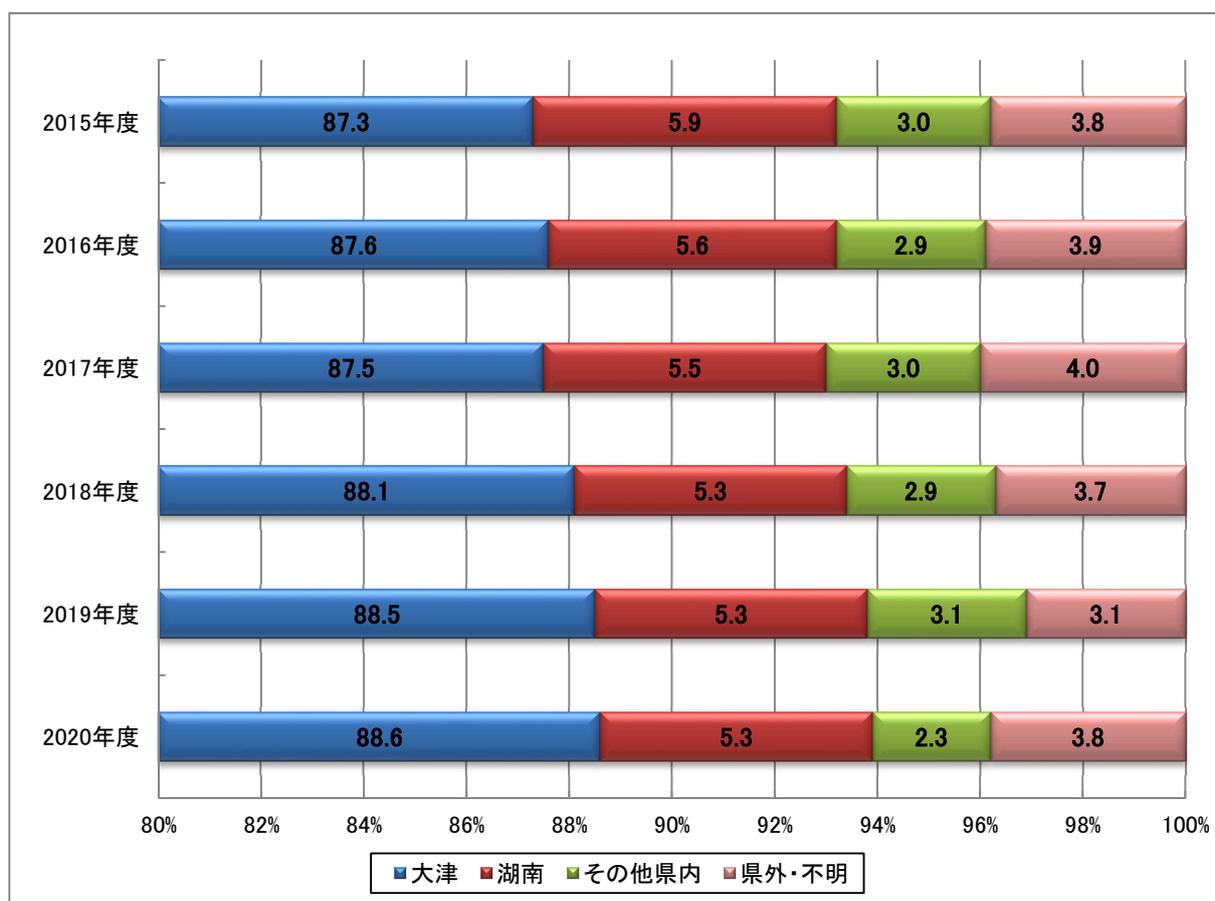
医療圏	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大津	79.3	81.3	86.6	90.5	91.2	92.2
湖南	5.8	5.4	5.1	3.3	3.3	3.3
その他県内	4.7	4.3	3.1	2.3	2.6	1.9
県外・不明	10.2	9.0	5.2	3.9	2.9	2.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【地域構成比年次推移(外来)】

(単位:%)

医療圏	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大津	87.3	87.6	87.5	88.1	88.5	88.6
湖南	5.9	5.6	5.5	5.3	5.3	5.3
その他県内	3.0	2.9	3.0	2.9	3.1	2.3
県外・不明	3.8	3.9	4.0	3.7	3.1	3.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【年齢階層別入院患者構成比推移】

年齢分類	2018年度		2019年度		2020年度	
	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)
0歳	429	3.2	144	1.2	9	0.2
1～9歳	485	3.7	489	4.1	221	2.2
10～19歳	232	1.8	204	1.7	171	1.7
20～29歳	462	3.5	320	2.7	287	2.9
30～39歳	552	4.2	328	2.7	245	2.5
40～49歳	833	6.3	556	4.6	459	4.6
50～59歳	1,082	8.2	985	8.2	862	8.6
60～64歳	774	5.9	700	5.8	624	6.2
65～69歳	1,316	10.0	1,264	10.5	921	9.2
70～74歳	1,592	12.0	1,592	13.3	1,417	14.2
75～79歳	1,766	13.3	1,748	14.5	1,422	14.2
80～84歳	1,599	12.0	1,672	13.9	1,393	13.9
85～89歳	1,243	9.4	1,197	10.0	1,133	11.3
90歳～	853	6.5	815	6.8	826	8.3
合計	13,218	100.0	12,014	100.0	9,990	100.0

【年齢階層別外来患者構成比推移】

年齢分類	2018年度		2019年度		2020年度	
	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)
0歳	852	0.7	620	0.5	171	0.2
1～9歳	5,610	4.7	5,381	4.7	3,291	3.4
10～19歳	4,309	3.6	4,049	3.6	3,039	3.1
20～29歳	5,201	4.3	4,359	3.8	3,854	4.0
30～39歳	6,897	5.7	5,753	5.1	4,778	4.9
40～49歳	12,893	10.7	11,707	10.3	9,336	9.7
50～59歳	14,949	12.4	14,369	12.6	12,718	13.2
60～64歳	8,326	6.9	7,783	6.8	6,773	7.0
65～69歳	13,141	10.9	11,336	10.0	9,146	9.5
70～74歳	15,381	12.7	15,442	13.6	14,029	14.5
75～79歳	14,323	11.9	14,484	12.7	12,370	12.8
80～84歳	10,584	8.8	10,060	8.9	9,275	9.6
85～89歳	5,935	4.9	6,029	5.3	5,498	5.7
90歳～	2,189	1.8	2,280	2.1	2,344	2.4
合計	120,590	100.0	113,652	100.0	96,622	100.0

【手術件数年次推移】

(単位:人)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
患者数	3,970	4,027	3,888	3,635	3,675	2,515

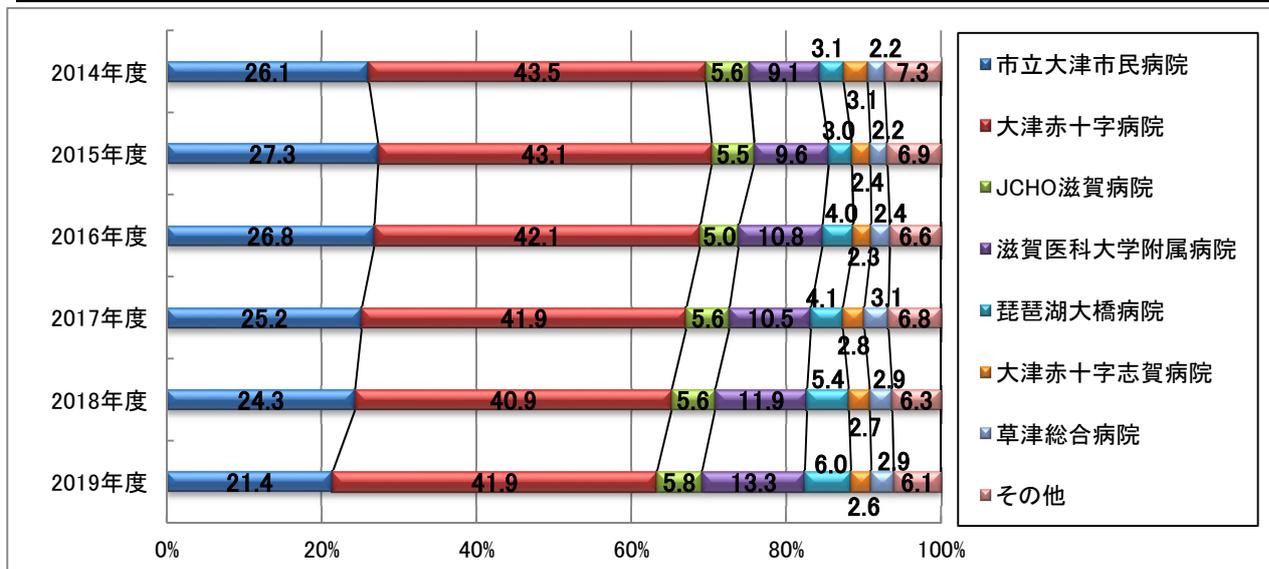
【救急患者数年次推移】

(単位:人)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
患者数	19,450	19,034	18,918	17,664	15,849	11,791
うち入院	2,992	3,114	2,886	2,778	2,551	2,221
うち外来	16,458	15,920	16,032	14,886	13,298	9,570
救急車搬送数	4,068	4,203	4,097	3,915	3,481	2,808

【大津市消防局医療機関別搬送人員割合年次推移】

医療機関	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	人員(人)
市立大津市民病院	27.3	26.8	25.2	24.3	21.4	20.0	2,801
大津赤十字病院	43.1	42.1	41.9	40.9	41.9	42.2	5,917
JCHO滋賀病院	5.5	5.0	5.6	5.6	5.8	6.4	891
滋賀医科大学附属病院	9.6	10.8	10.5	11.9	13.3	12.1	1,698
琵琶湖大橋病院	3.0	4.0	4.1	5.4	6.0	6.6	920
大津赤十字志賀病院	2.4	2.3	2.8	2.7	2.6	2.1	301
草津総合病院	2.2	2.4	3.1	2.9	2.9	3.8	532
その他	6.9	6.6	6.8	6.3	6.1	6.8	957
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	14,017

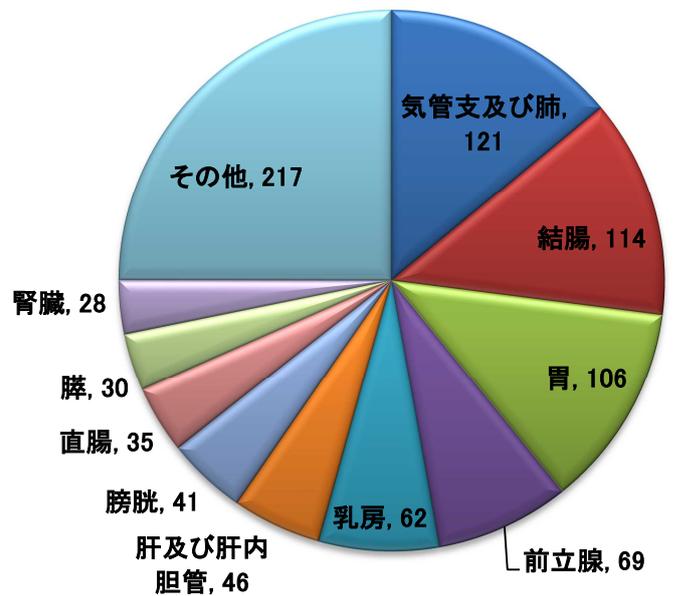


【2019年院内がん登録統計】

対象：2019年1月～12月に初診された「がん」

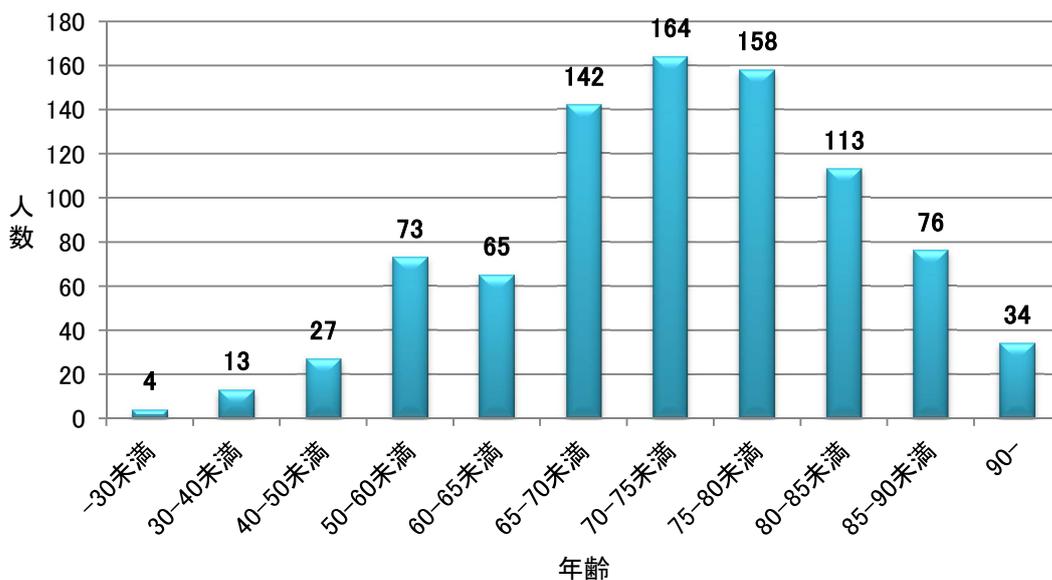
<部位（中分類）別上位10>

	部位	件数	割合
1	気管支及び肺	121	13.9
2	結腸	114	13.1
3	胃	106	12.2
4	前立腺	69	7.9
5	乳房	62	7.1
6	肝及び肝内胆管	46	5.3
7	膀胱	41	4.7
8	直腸	35	4.0
9	膵	30	3.5
10	腎臓	28	3.2
	その他	217	25.1
	合計	869	100.0



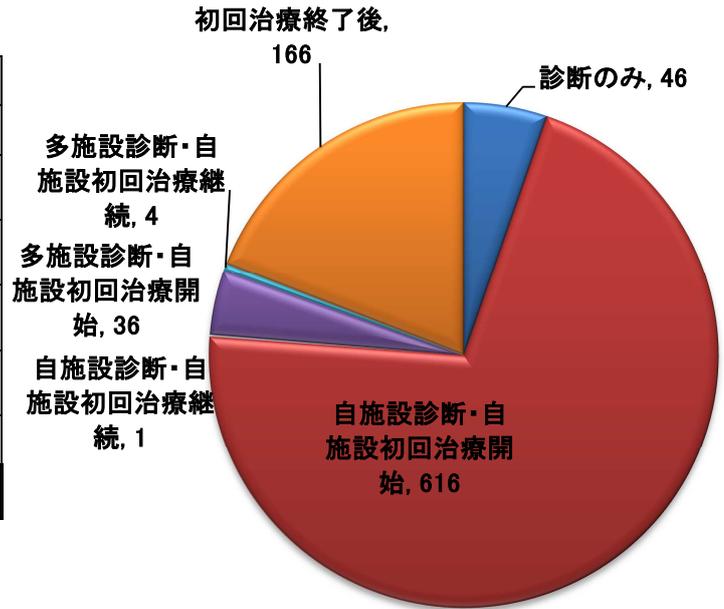
<年齢階層別>

年齢	-30未満	30-40未満	40-50未満	50-60未満	60-65未満	65-70未満	70-75未満	75-80未満	80-85未満	85-90未満	90以上	合計	平均年齢
人数	4	13	27	73	65	142	164	158	113	76	34	869	71.8
割合	0.5	1.5	3.1	8.4	7.5	16.3	18.9	18.2	13.0	8.7	3.9	100.0	



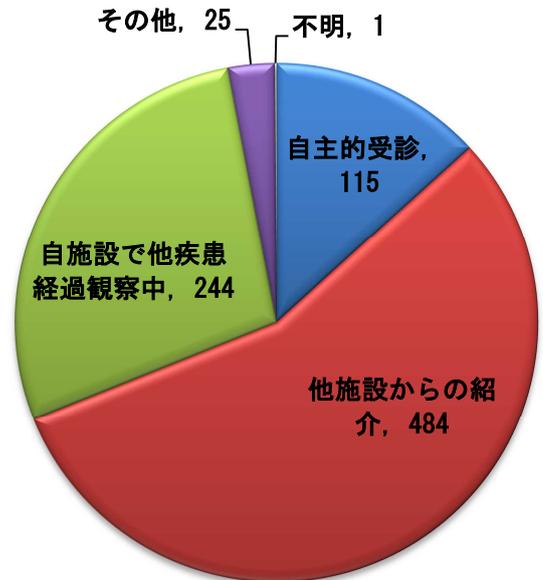
<症例区分別>

症例区分	件数	割合
診 断 の み	46	5.3
自施設診断・自施設初回治療開始	616	70.9
自施設診断・自施設初回治療継続	1	0.1
多施設診断・自施設初回治療開始	36	4.1
多施設診断・自施設初回治療継続	4	0.5
初回治療終了後	166	19.1
合計	869	100.0



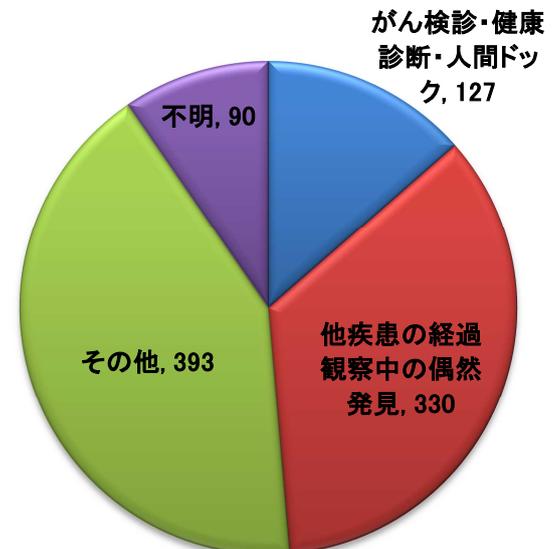
<来院経路別>

来院経路	件数	割合
自 主 的 受 診	115	13.2
他施設からの紹介	484	55.7
自施設で他疾患経過観察中	244	28.1
そ の 他	25	2.9
不 明	1	0.1
合計	869	100.0



<発見経緯別>

来院経路	件数	割合
がん検診・健康診断・人間ドック	128	14.7
他疾患の経過観察中の偶然発見	331	38.1
剖 検 発 見 (Aiを含む)	-	-
そ の 他	333	38.3
不 明	77	8.9
合計	869	100.0



クオリティ・インディケーター

当院は、2013 年度から一般社団法人日本病院会のQI(クオリティ・インディケーター)プロジェクトに参加しています。QIは医療の質を表す指標で、病院経営の根幹を成すものです。経時的にQIを測定し、医療を透明化・可視化することで自院の立ち位置を知ることができます。

また、当院ではQIプロジェクトの指標の他にも、独自の指標(下表「医療実績」)を設けています。

これらの指標を観察・分析し、ISO9001 のPDCAサイクルをまわすことで、常に医療の質向上、バージョンアップに努めています。

2020 年度 医療実績

項目	2020 年度	2019 年度	前年同期比較
平均在院日数	14.1 日	13.1 日	1 日
一般病床利用率 (一般病床数) 2019 年度: 431 床 2020 年度: 431 床	72.6%	84.9%	△12.3%
紹介率*	68.4%	71.2%	△2.8%
逆紹介率*	90.1%	104.2%	△14.1%
手術件数	2,515 件	3,675 件	△1,160 件
救急ストップ時間	843 時間	63 時間	△780 時間
人間ドック受診者数	676 人	3,418 人	△2,742 人
入院患者満足度**	89.5%	92.9%	△3.4%
外来患者満足度**	86.0%	82.8%	3.2%

* QIプロジェクトの指標にも含まれる。

** 「この病院について総合的には満足している」という質問に対し、5段階評価で「非常にそう思う」、「ややそう

思う」と回答した割合を掲載(患者本人および患者家族回答分を対象としているため、QIプロジェクトの患者満足度とは合致しない)。

2020年度 QIプロジェクト実績(一般病床向け指標)

病院全体

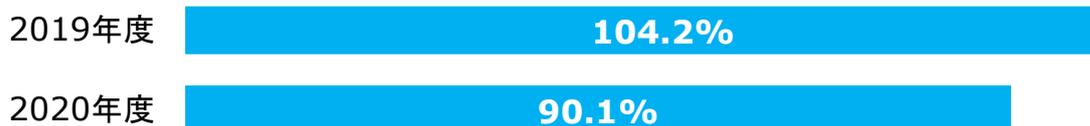
◆紹介率



分子 : 紹介初診患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆逆紹介率



分子 : 逆紹介患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆退院後 30 日以内の予定外再入院率



患者の中には、退院後 30 日以内に予定外の再入院をする人もいます。背景としては、初回入院時の治療が十分でなかったことや、患者の回復が不完全な状態での退院などの要因が考えられます。

分子 : 前回の退院日が 30 日以内の救急医療入院患者数

分母 : 退院患者数

◆18歳以上の身体抑制率

2019年度  5.3%

2020年度  7.8%

分子：(物理的)身体抑制を実施した患者延べ数

分母：18歳以上の入院患者延べ数

◆死亡退院患者率

2019年度  3.0%

2020年度  3.4%

この数値については解釈に注意が必要です。その医療施設の特徴(職員数、病床数、救命救急センターやICUの有無、平均在院日数、地域特性など)や、入院患者のプロフィール(年齢、性別、疾患の種類・重症度など)が異なるため、この数値から直接医療の質を比較することは適切ではありません。

分子：死亡退院患者数

分母：退院患者数

◆職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

2019年度  96.7%

2020年度  91.7%

分子：インフルエンザワクチンを予防接種した職員数

分母：職員数

患者満足

◆入院患者満足度

2019年度  92.9%

2020年度  89.5%

分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した入院患者数

分母：患者満足度調査に回答した入院患者数

◆外来患者満足度

2019年度  82.8%

2020年度  86.0%

分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した外来患者数

分母：患者満足度調査に回答した外来患者数

医療安全・感染

◆入院患者の転倒・転落発生率

2019年度  4.46 ‰

2020年度  4.88 ‰

患者に傷害が発生した事例はもちろん、傷害が発生しなかった事例も含めて、転倒・転落の原因や要因を分析することに意味があります。要因を特定し、分析した結果から明らかになった予防策を実施することが、傷害の予防に繋がります。

分子：医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母：入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上)

2019年度  0.64 ‰

2020年度  0.43 ‰

分子：医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の件数

分母：入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル4以上)

2019年度  0.12 ‰

2020年度  0.06 ‰

分子：医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル4以上の件数

分母：入院延べ患者数

◆65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

2019年度  5.25 ‰

2020年度  5.51 ‰

分子：65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母：65歳以上の入院延べ患者数

< 損傷レベル >		
1	なし	患者に損傷はなかった
2	軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	U T D	記録からは判定不可能

◆1か月間・100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数

2019年度  22.2件

2020年度  20.7件

分子：調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数×100

分母：許可病床数

◆全報告中医師による報告の占める割合

2019年度  5.4%

2020年度  1.0%

分子：分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数

分母：調査期間中のインシデント・アクシデント報告総件数

◆褥瘡発生率

2019年度 **0.14%**

2020年度 **0.16%**

褥瘡は患者の QOL(生活の質)低下をきたすとともに、治癒が長期に及ぶことで在院日数の長期化や医療費の増大にも繋がるため、看護ケアの質評価において、重要な指標の一つとしてとらえられています。1998 年からは診療報酬にも反映されるようになりました。

分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2 以上の褥瘡の院内新規発生患者数

分母：入院延べ患者数

< 深 さ >	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮膚組織までの損傷
D4	皮膚組織をこえる損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

◆広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

2019年度 **45.2%**

2020年度 **46.2%**

入院患者に広域抗菌薬を投与する際は、その患者の血液培養を実施することが望ましいとされています。

分子：投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母：広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

◆血液培養実施時の 2 セット実施率

2019年度 **89.7%**

2020年度 **91.9%**

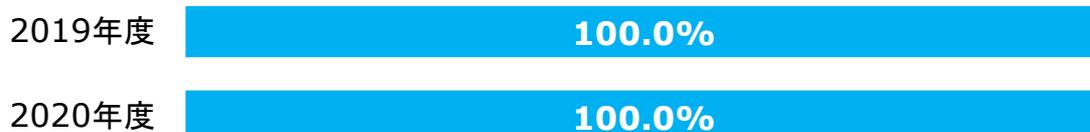
血液培養は、1 セットの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、同日に 2 セット以上行うことが推奨されています。

分子：血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数

分母：血液培養オーダー日数

手術・処置

◆特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

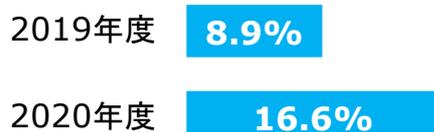


手術開始前1時間以内に適切な抗菌薬を静脈注射することで、手術部位感染（SSI）を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができます。

分子：手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数

分母：特定術式の手術件数

◆特定術式における術後24時間（心臓手術は48時間）以内の予防的抗菌薬投与停止率

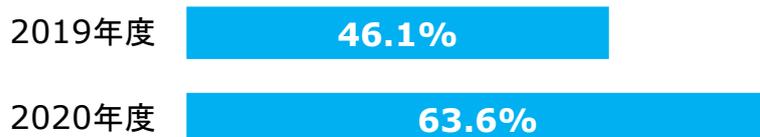


手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染（SSI）が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子：術後24時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数（心臓手術は48時間以内）

分母：特定術式の手術件数

◆特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率



予防的抗菌薬は、術中に細菌感染が起こることを予防することが目的です。そのため、術式により感染の可能性がある細菌（皮膚の常在菌や消化管内の細菌等）がある程度想定されるため、推奨抗菌薬が定められています。

分子：術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数

分母：特定術式の手術件数

◆尿道留置カテーテル使用率

2019年度 **14.2%**

2020年度 **14.9%**

尿路感染は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道カテーテルなどの器具が原因です。一般的には重症化することなく無症状で経過することがほとんどですが、まれに膀胱炎、腎盂炎、敗血症に至ることがあるため、適切に管理することが重要です。

尿路感染症は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。一般的には重症化することなく無症状で経過することがほとんどですが、まれに膀胱炎、腎盂炎、敗血症に至ることがあるため、適切に管理することが重要です。

分子：尿道留置カテーテルが挿入されている入院延べ患者数

分母：入院延べ患者数

◆症候性尿路感染症発生率

2019年度 **2.5 ‰**

2020年度 **0.5 ‰**

尿路感染症は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。尿路感染症予防対策として、尿道留置カテーテルの適性使用・管理・早期抜去が重要となります。

分子：分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数

分母：入院患者における尿道留置カテーテル挿入延べ日数

◆統合指標(手術)

2019年度 **51.7%**

2020年度 **60.0%**

関連する下記 3 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率
- ・特定術式における術後 24 時間以内(心臓手術は 48 時間以内)の予防的抗菌薬投与停止率
- ・特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

呼吸器系

◆喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

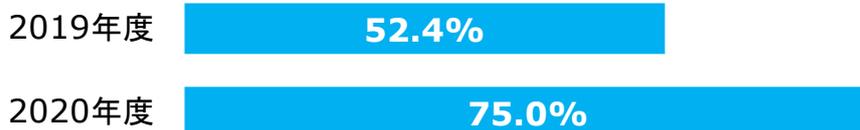


ガイドラインに沿った標準的治療の有無を見る指標であり、慢性期の中心的管理方法です。

分子：入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた患者数

分母：5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

◆入院中にステロイドの経口・静注処方をされた小児喘息患者の割合



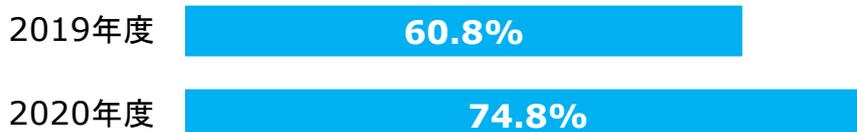
喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げるためにガイドラインで推奨されています。

分子：入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた患者数

分母：2～15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

脳・神経系

◆脳梗塞（TIA含む）患者のうち入院2日目までの抗血栓・抗凝固療法を処方した割合



脳梗塞の治療に際しては、入院2日目までに抗血栓もしくは抗凝固療法を開始することが推奨されています。

分子：入院2日目までに抗血栓療法もしくは抗凝固療法を受けた患者数

分母：脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数

◆脳梗塞(TIA 含む)患者のうち退院時に抗血小板薬を処方した割合

2019年度 **71.4%**

2020年度 **77.8%**

再発予防の観点から、脳梗塞発症早期から抗血小板治療を行う有用性が明らかとなっていますので、適応する患者には退院時に抗血小板薬の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

分子：退院時に抗血小板薬を処方された患者数

分母：脳梗塞か TIA と診断された 18 歳以上の入院患者数

◆脳梗塞患者のうち退院時にスタチンを処方した割合

2019年度 **40.5%**

2020年度 **24.6%**

LDL コレステロールを低下させるほど、脳卒中の発症率、死亡率が下がるという研究報告があります。海外の臨床試験 (SPARCL) では高用量のスタチン製剤による脳卒中の再発抑制が示され、動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版ではスタチンによる脳梗塞発症の予防を、「推奨レベル 1、エビデンスレベル A(最も良質なエビデンスがあると認め、最高の推奨度レベル)」としています。

分子：退院時にスタチンが処方された患者数

分母：脳梗塞で入院した患者数

◆心房細動を伴う脳梗塞(TIA 含む)患者のうち退院時に抗凝固薬を処方した割合

2019年度 **79.0%**

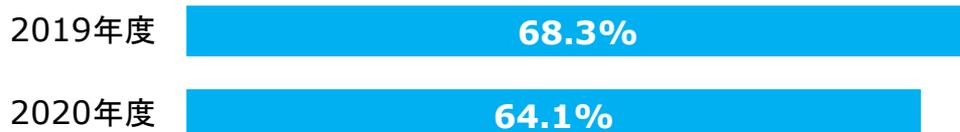
2020年度 **60.0%**

心房細動を合併する脳梗塞の再発予防の観点から、抗凝固薬を用いた治療が有効とされています。適応する患者には退院時に抗凝固剤の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

分子：退院時に抗凝固薬を処方された患者数

分母：脳梗塞か TIA と診断され、かつ心房細動と診断された 18 歳以上の入院患者数

◆脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

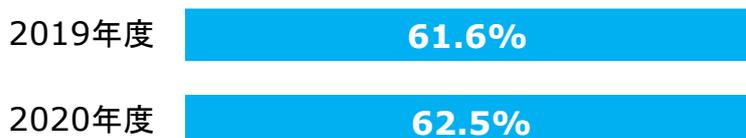


入院後、できるだけ早期にリハビリを開始することがADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の早期回復と低下抑制に繋がります。

分子：入院後早期に脳血管リハビリテーションが行われた患者数

分母：脳梗塞と診断されて入院した18歳以上の入院患者数

◆統合指標(脳卒中)



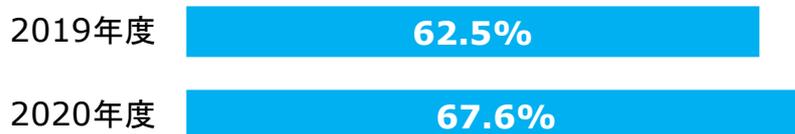
関連する下記5指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・脳梗塞(TIA含む)患者のうち入院2日目までに抗血小板もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合
- ・脳梗塞(TIA含む)患者のうち退院時抗血小板薬処方割合
- ・脳梗塞(TIA含む)患者の退院時スタチン処方割合
- ・心房細動を伴う脳梗塞(TIA含む)患者への退院時抗凝固薬処方割合
- ・脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合

心臓血管系

急性心筋梗塞においては、抗血小板薬、βブロッカー、ACE阻害剤あるいはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤(ARB)、スタチンなどが心筋梗塞発症後の長期予後改善や二次予防を目的とした退院時処方に推奨されています。二次予防に必須とされる薬物を退院時に処方する割合が高い方が望ましいと言えます。

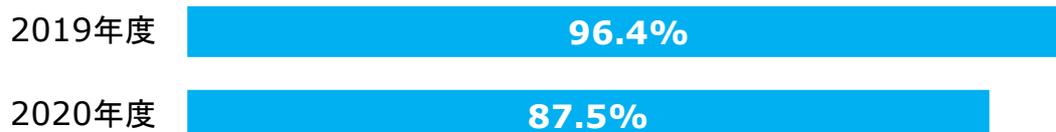
◆急性心筋梗塞患者のうち入院当日にアスピリンを投与した割合



分子：入院当日にアスピリンが投与された患者数

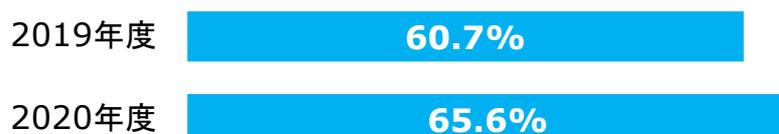
分母：急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち退院時に抗血小板薬を投与した割合



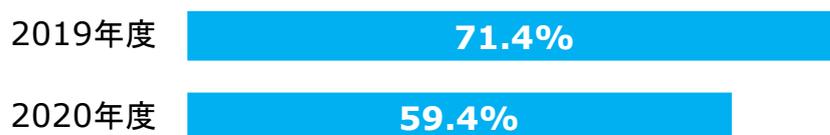
分子 : 退院時に抗血小板薬が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち退院時にβブロッカーを投与した割合



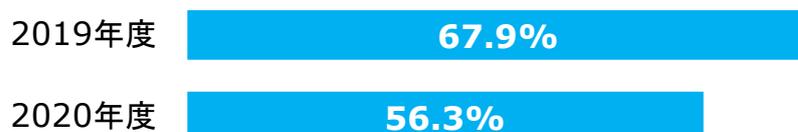
分子 : 退院時にβブロッカーが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち退院時にスタチンを投与した割合



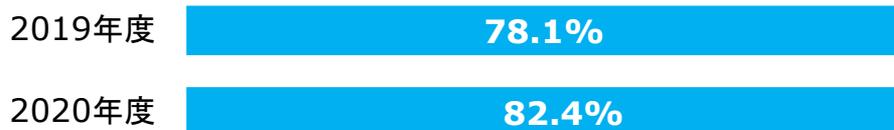
分子 : 退院時にスタチンが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち退院時にACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤を投与した割合



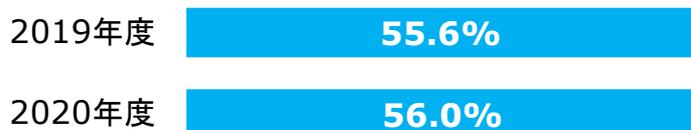
分子 : 退院時にACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤を投与した割合



分子 : ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者のうち病院到着後 90 分以内に初回 PCI を実施した割合



急性心筋梗塞では、医療機関到着から PCI 開始までの時間 (door-to-balloon 時間と呼ばれます) が延びるほど予後が悪くなると報告されています。ガイドラインでは医療機関受診後 90 分以内にカテーテル治療を行うことを求めており、診断からスタッフや検査室の準備、再灌流達成までの複合的な時間を短縮する必要があります。

分子 : 来院後 90 分以内に手技を受けた患者数
分母 : 18 歳以上の急性心筋梗塞で PCI を受けた患者数

◆統合指標(虚血性心疾患)



関連する下記 7 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・急性心筋梗塞患者における入院当日アスピリン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時 β ブロッカー投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時 ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合
- ・急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の PCI 実施割合

筋・骨格系

大腿骨頸部骨折や大腿骨転子部骨折は、入院後早期に手術を受けることが望ましいとされています。

◆大腿骨頸部骨折の早期手術割合

2019年度 44.8%

2020年度 47.2%

分子：入院2日以内に手術を受けた患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数

◆大腿骨転子部骨折の早期手術割合

2019年度 55.6%

2020年度 66.7%

分子：入院2日以内に手術を受けた患者数

分母：大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数

救 急

◆救急車・ホットラインの応需率

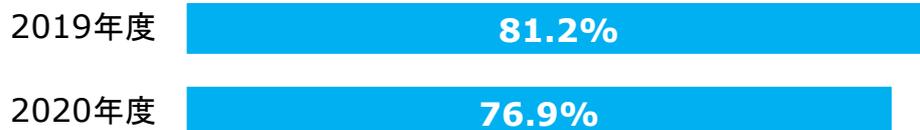
2019年度 98.8%

2020年度 94.9%

分子：救急車で来院した患者数

分母：救急車受け入れ要請件数

◆糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施率

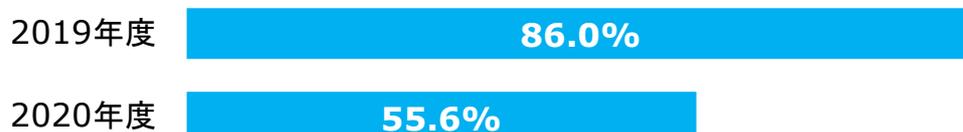


糖尿病や慢性腎臓病を併存症に持つ患者への積極的な栄養管理介入は、治療改善につながると考えられています。

分子：特別食加算の算定回数

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数

◆シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤投与率



抗がん剤治療における悪心や嘔吐は代表的な副作用としてあげられます。制吐療法は抗がん剤治療による副作用を和らげる支持療法です。

分子：実施日の前日または当日に、5HT₃ 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

分母：18歳以上の患者で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた実施日数

地域連携パス

◆脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率

2019年度 **28.0%**

2020年度 **30.3%**

脳卒中の治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母：脳卒中で入院した患者数

◆大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

2019年度 **60.3%**

2020年度 **55.6%**

急性期における治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

分子：「地域連携資料計画加算」を算定した患者数

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数